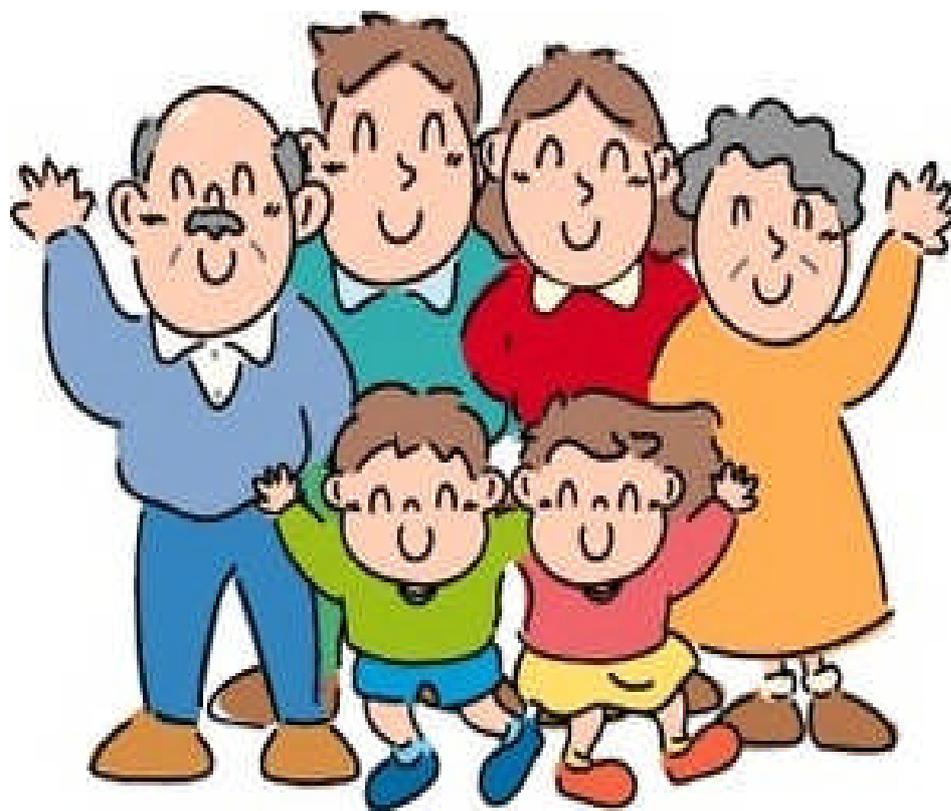


伊勢原市

# 市民生涯スポーツ推進基本計画

...市民が主体の生涯スポーツ社会の実現を目指して...



伊 勢 原 市  
伊勢原市教育委員会

# 目 次

第1章	計画策定にあたって	1
1	策定の趣旨	1
2	市民の体力・スポーツに関する調査の概要	2
(1)	運動やスポーツの実施状況	
(2)	健康・体力感等	
(3)	運動・スポーツの実施形態	
(4)	スポーツ活動の場	
(5)	スポーツ情報	
(6)	スポーツ推進と期待される効果	
(7)	調査の概要から見えてくる課題	
3	前計画による取組とこれまでの評価	24
(1)	運動実施率	
(2)	総合型地域スポーツクラブの創設	
(3)	スポーツ競技大会参加者数	
(4)	スポーツ情報システムの整備	
4	策定に向けた新たな視点	26
第2章	伊勢原市市民生涯スポーツ推進基本計画	27
1	計画の位置づけ	27
2	基本的事項	27
(1)	基本理念と基本目標	
(2)	基本施策	
(3)	計画の施策体系図	
(4)	分野別施策	
(5)	計画実現に向けた役割	
(6)	施策実現に向けて	
参考資料		40
1	スポーツ事業への取組み	
2	この計画で使われている主な用語	
3	市民の体力・スポーツに関する調査	
4	伊勢原市市民生涯スポーツ推進基本計画策定経過資料	
5	計画策定に係わったスポーツ推進審議会委員名簿	

# 第1章 計画策定にあたって

## 1 策定の趣旨

平成20年2月に策定した「伊勢原市市民生涯スポーツ振興基本計画（計画期間は平成19年度から平成24年度）」（以下「前計画」という。）の評価及び現在のスポーツ推進等の状況を踏まえて、新たに平成25年度からの「伊勢原市市民生涯スポーツ推進基本計画」を策定しました。

計画策定にあたり、平成22年6月に「市民の体力・スポーツに関する調査」（以下「市調査」という。）を実施し、スポーツに関する市民の意見や要望等の実態把握を行い、前計画の進捗状況の評価するとともに、本計画策定の基礎資料としました。

また、計画の基本的事項である「基本理念」や「基本施策」については、既に前計画にスポーツ基本法など新たな法律改正の趣旨などが折り込まれていることから、継承することとしました。

新たなスポーツに関する事項として、スポーツ立国戦略（平成22年8月26日文科科学省）及びスポーツ基本法（平成23年法律第78号「以下「基本法」という。」）並びにスポーツ基本計画（平成24年3月文科科学省）を斟酌するとともに、伊勢原市教育振興基本計画の趣旨を踏まえ、伊勢原市のまちづくりの指針である「第5次伊勢原市総合計画」（平成25年度から平成34年度）の一翼を担う行政計画として策定しました。

なお、計画の期間は、10年間とし、必要に応じ再検討を加え、見直すこととします。



## 2 市民の体力・スポーツに関する調査の概要

### 調査の基本的事項

この計画を策定するにあたり、市民の体力・スポーツに関する現状及びスポーツニーズを的確に把握するため、次の方法により市民の体力・スポーツに関する調査を実施しました。

- 1 調査対象者 市内に居住する20歳以上79歳以下の者  
(平成22年5月)
- 2 抽出方法 選挙人名簿を用いた無作為抽出
- 3 調査方法 アンケート調査票を用いた往復郵送調査
- 4 調査期間 平成22年6月
- 5 回収状況 調査標本数 2,000サンプル  
有効回収標本数 1,307サンプル  
有効回収率 65.4%

#### (1) 運動やスポーツの実施状況

市調査の結果、この1年間で運動・スポーツ実施者が80.6%となり、高い水準であることが分かり、前回調査72.5%に対し、8.1ポイント高まっていることが認められました。(表1、図1)

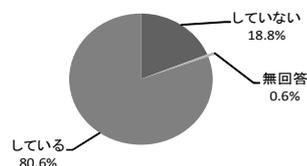
さらに、運動・スポーツ実施者のうち、週1回、30分以上の実施者は、50.7%あり、目標(45%)を達成しました。

また、各年代別の運動・スポーツ実施割合は、20代で41.5%、30代で38.2%、40代で51.3%、50代で53.5%、60代で58.6%、70代で53.1%となっており、20代、30代のそれを除けば50%を超える年代ごとの実施実態が明らかになりました。

表1 スポーツ実施状況

項目	人数	割合(%)
していない	246	18.8
している	1053	80.6
無回答	8	0.6
合計	1307	100.0

図1 スポーツ実施状況



注) スポーツ実施状況

この1年間で30分以上の運動・スポーツを実施した人の状況をいう。

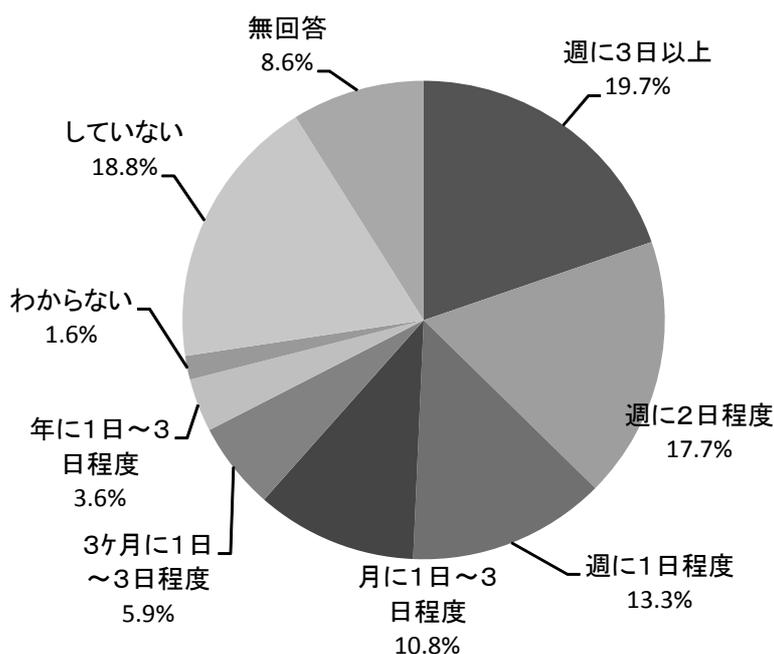
伊勢原市市民生涯スポーツ振興基本計画（平成20年2月）では成人の週1回30分以上の運動・スポーツ実施率を45%としており、今回の調査では週1回の運動実施率は50.7%であり、目標を達成しています。健康日本21（第二次）では「週2回30分以上の運動を1年以上継続している者（運動習慣者）」の割合を現状33.1%（平成22年）を43%（平成34年度）とすることとされています。

なお、この項目に関する本調査では、37.4%を示しています。（表2、図2）

表2 この1年間の運動・スポーツ実施状況

項目	人数	比率 (%)
週に3日以上	256	19.7
週に2日程度	232	17.7
週に1日程度	174	13.3
月に1日～3日程度	141	10.8
3ヶ月に1日～3日程度	78	5.9
年に1日～3日程度	47	3.6
わからない	21	1.6
していない	246	18.8
無回答	112	8.6
合計	1307	100.0

図2 この一年間の運動・スポーツ実施状況



① スポーツ実施の有無の理由

運動・スポーツ実施の理由は、「健康・体力づくりのため」が、25.9%であり、「楽しみ、気晴らしとして」が24.0%、「友人・仲間との交流として」が17.9%となっており、健康・体力づくり、楽しみ・気晴らし、友人・仲間との交流が三大実施理由となっています。（表3、図3）

運動・スポーツを実施しなかった理由としては、「機会がなかったから」が28.7%あり、次いで「時間がなかったから」が24.2%となり、機会と時間で、52.9%を占めていることが分かりました。

また、「運動・スポーツが嫌いだから」と答えた者は、5.7%となりました。（表4、図4）

表3 運動・スポーツ実施の理由（複数回答）

項目	人数	割合(%)
健康・体力づくりのため	586	25.9
楽しみ、気晴らしとして	545	24.0
友人・仲間との交流として	405	17.9
運動不足を感じるから	372	16.4
美容や肥満解消のため	130	5.7
家族とのふれあいとして	119	5.2
自己の記録や能力を向上させるため	79	3.5
精神の修養や訓練のため	32	1.4
合計	2268	100.0

図3 運動・スポーツ実施の理由（複数回答）

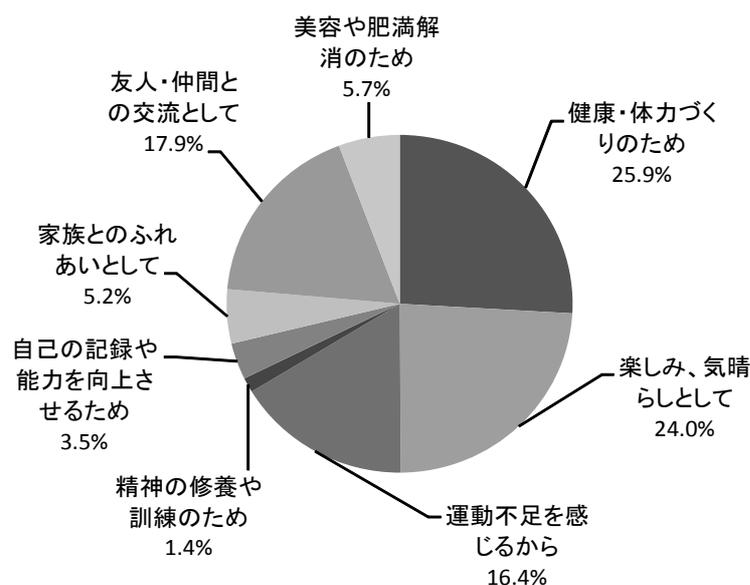
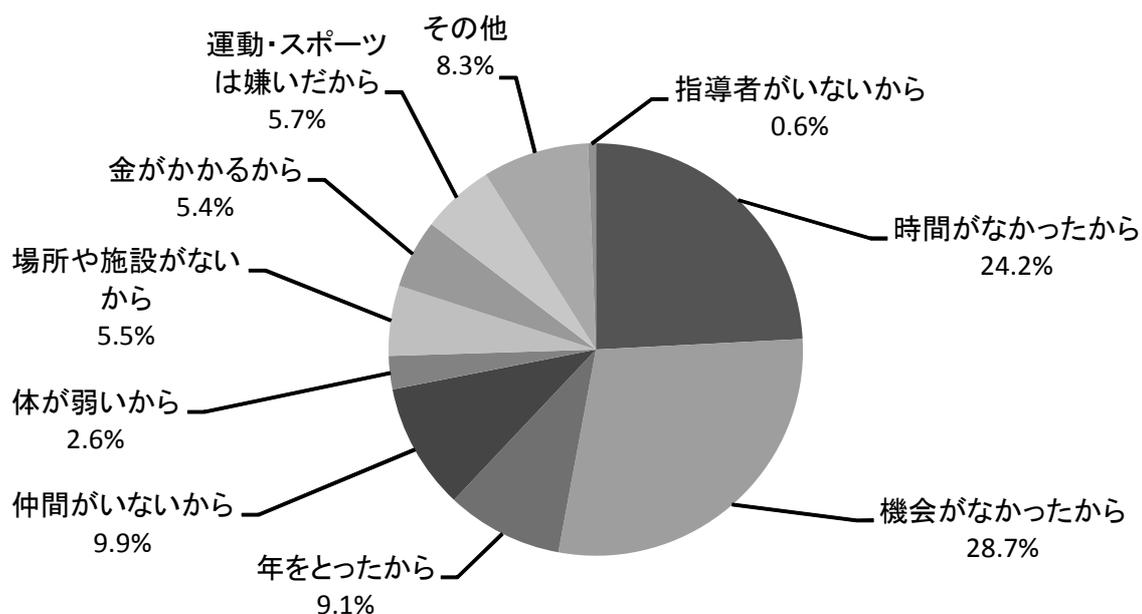


表4 この1年間で運動・スポーツを実施しなかった理由（複数回答）

項目	人数	割合(%)
時間がなかったから	122	24.2
機会がなかったから	145	28.7
年をとったから	46	9.1
仲間がいないから	50	9.9
体が弱いから	13	2.6
場所や施設がないから	28	5.5
金がかかるから	27	5.4
運動・スポーツは嫌いだから	29	5.7
その他	42	8.3
指導者がいないから	3	0.6
合計	505	100.0

図4 この1年間で運動・スポーツを実施しなかった理由（複数回答）



## ② スポーツの満足度

運動・スポーツ実施の満足度については、「満足している」が16.9%に止まっており、「もっと行いたい」が32.5%、「行いたいと思っているが、できない」は43.7%であり、「もっと」と「できない」で76.2%を占め、運動・スポーツの実施への意欲はあるが、満足に行えていないことが示唆されました。

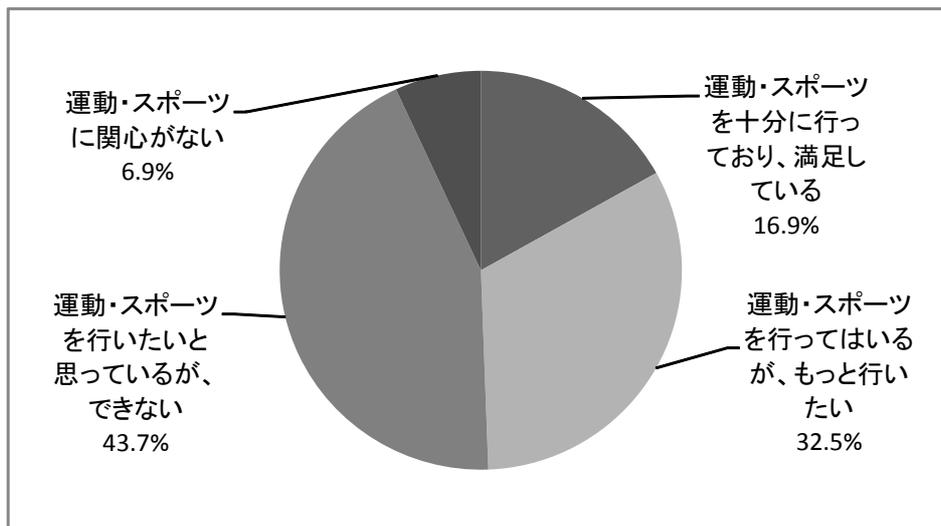
なお、「もっと」と「できない」の年代別の構成比は、20代と70代がそれぞれ10%未満であったのに対し、それ以外の年代では13%台から16%台を占めていることが分かりました。（表5、図5）

表5 自身の運動・スポーツ実施状況への満足度

項 目	人 数	割合 (%)
運動・スポーツを十分に行っており、満足している	212	16.9
運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい	408	32.5
運動・スポーツを行いたいと思っているが、できない	548	43.7
運動・スポーツに関心がない	87	6.9
合 計	1255	100.0

\*無回答者数を除く

図5 自身の運動・スポーツ実施状況への満足度



(2) 健康・体力感等

市民の健康感について尋ねたところ、男性では、93.1%が、女性では93.4%が「まあ」あるいは「大いに」健康であると回答されました。逆に、「健康でない」と回答された男性は6.9%、女性は6.6%ありました。(表6)

表6 健康感について

項 目		健康状態について			
		健康でない	まあ健康である	大いに健康である	合 計
男性	人数	40	448	94	582
	割合 %	6.9	77.0	16.1	100.0
女性	人数	47	581	88	716
	割合 %	6.6	81.1	12.3	100.0
合計	人数	87	1029	182	1298
	割合 %	6.7	79.3	14.0	100.0

\*無回答者数を除く

さらに、日頃、健康や体力の維持増進のために、心がけていることを尋ねると、心がけでは、「食生活」が最も多く、次いで「睡眠・休養」、「運動やスポーツ」と続きました。「酒、タバコを控える」への回答は、5.3%と少ないことが明らかになりました。(表7)

表7 健康・体力維持増進への心がけ(複数回答)

項 目	人 数	割合(%)
食生活に気をつける	905	27.7
睡眠や休養をよくとる	699	21.4
運動やスポーツ(体操・散歩を含む)をする	589	18.0
日頃からできるだけ身体活動の機会を増やす	434	13.3
規則正しい生活をする	466	14.3
酒、タバコなどを控える	174	5.3
合 計	3267	100.0

また、体力感については、体力について「普通」もしくは「自信がある」と回答した男性は85.7%、女性で77.9%あり、「自信がない」と答えた男性は14.3%、女性は22.1%ありました。(表8)

表8 普段の体力について、どう思いますか(体力感)

項 目		自信がない	普通である	自信がある	合 計
男性	人数	83	412	86	581
	割合 %	14.3	70.9	14.8	100.0
女性	人数	158	499	57	714
	割合 %	22.1	69.9	8.0	100.0
合計	人数	241	911	143	1295
	割合 %	18.6	70.4	11.0	100.0

\*無回答者数を除く

#### ① 運動実施の有無と健康・体力・肥満感

市民の健康感や体力感など、日常生活における主観的な感覚を尋ねたところ、健康を感じる人が93.2%を、また、自身の体力に普通又はそれ以上という感覚をもつ人が81.2%を占めました。

しかしながら肉体的疲労感や精神的疲労感を有する人はそれぞれ80%代あり、体力の衰えを感じる人は91.8%と高位を示しました。

また、81.7%の者が運動不足感を有しているものの肥満感は59.2%を示しました。(表9から15、図6から12)

表9 健康感

項目	人数	パーセント
大いに健康である	182	13.9
まあ健康である	1037	79.3
健康でない	87	6.7
無回答	1	0.1
合計	1307	100.0

図6 健康感

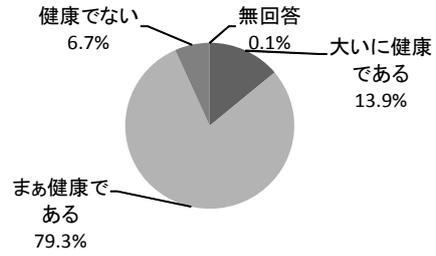


表10 体力感

項目	人数	パーセント
自信がある	143	11.0
普通である	918	70.2
自信がない	242	18.5
無回答	4	0.3
合計	1307	100.0

図7 体力感

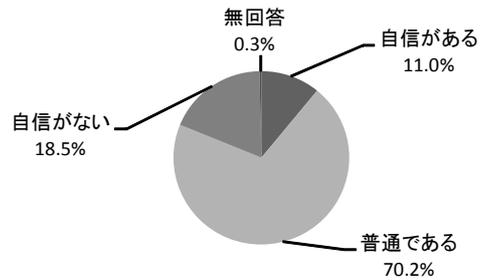


表11 肉体的疲労感

項目	人数	パーセント
大いに感じる	202	15.4
少し感じる	937	71.7
感じない	167	12.8
無回答	1	0.1
合計	1307	100.0

図8 肉体的疲労感

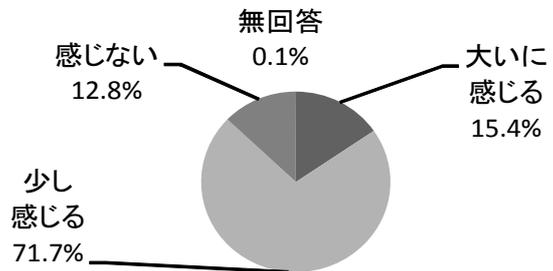


表 1 2 精神的疲労感

項 目	人 数	パ ーセント
大いに感じる	269	20.6
少し感じる	820	62.7
感じない	214	16.4
無回答	4	0.3
合計	1307	100.0

図 9 精神的疲労感

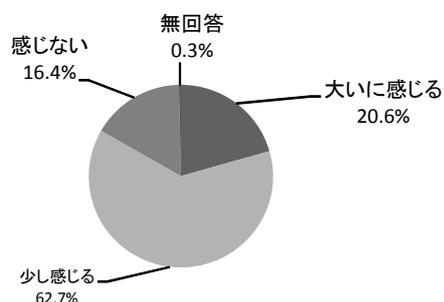


表 1 3 体力の衰え感

項 目	人 数	パ ーセント
大いに感じる	374	28.6
少し感じる	826	63.2
感じない	106	8.1
無回答	1	0.1
合計	1307	100.0

図 1 0 体力の衰え感

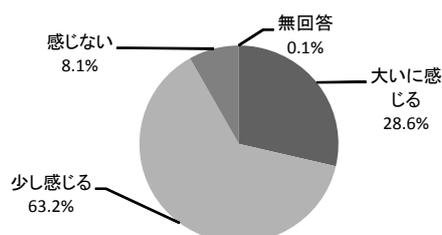


表 1 4 普段の運動不足感

項 目	人 数	パ ーセント
大いに感じる	465	35.6
少し感じる	602	46.1
感じない	238	18.2
無回答	2	0.1
合計	1307	100.0

図 1 1 普段の運動不足感

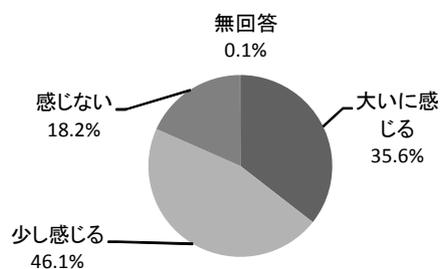
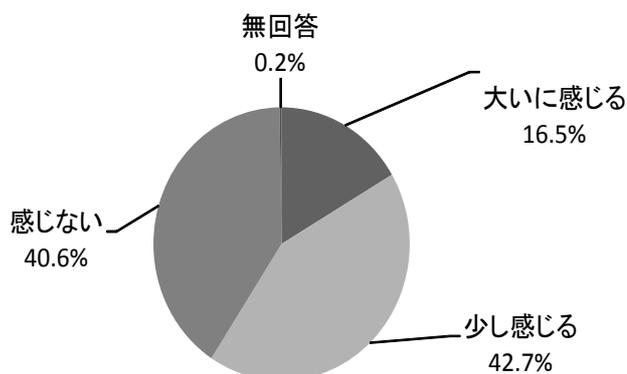


表15 肥満感

項目	人数	パーセント
大いに感じる	216	16.5
少し感じる	558	42.7
感じない	530	40.6
無回答	3	0.2
合計	1307	100.0

図12 肥満感



(3) 運動・スポーツの実施形態

実際に実施されている運動・スポーツ活動は、実施が容易な軽スポーツを多くの人が行っていることが分かりました。一方、専門性の高い競技スポーツを行う人は少ないことが明らかになりました。(表16)

男女別の実施状況は、男性で軽スポーツを行っている者は76.9%、女性で72.5%、競技スポーツを行っている者は、男性で34.1%、女性で28.7%であり、男女とも競技スポーツを行っている者の割合は、同程度であることが分かりました。(表16)

表16 スポーツ実施形態

項目	どのような種類の運動を行っているか								合計	
	行っていない	○ 軽 × 野外 × 競技	× 軽 ○ 野外 × 競技	× 軽 × 野外 ○ 競技	○ 軽 ○ 野外 × 競技	× 軽 ○ 野外 ○ 競技	○ 軽 × 野外 ○ 競技	○ 軽 ○ 野外 ○ 競技		
男性	人数	90	86	25	7	156	3	25	149	541
	割合 %	16.6	15.9	4.6	1.3	28.8	0.6	4.6	27.6%	100.0
女性	人数	155	199	13	13	109	2	80	97	668
	割合 %	23.2	29.8	2.0	2.0	16.3	0.3	11.9	14.5%	100.0
合計	人数	245	285	38	20	265	5	105	246	1209
	割合 %	20.3	23.6	3.1	1.7	21.9	0.4	8.7	20.3%	100.0

\*無回答者数を除く

① 軽スポーツの実施状況

軽スポーツ実施者の種目別内容は、ウォーキングが34.1%、次いで軽い球技の13.9%と続き、屋内の器具運動、その他の軽スポーツが、それぞれ8.1%を構成しています。(表17)

表17 軽スポーツ実施内容 (複数回答)

項目		球技	体操	エアロビ	ウォーク	フォークダンス	ホウリン	GB・GG	ランニング	水泳	器具運動	その他	合計
男性	人数	141	38	9	294	8	69	36	100	55	69	81	900
女性	人数	121	92	39	351	29	63	26	43	69	84	73	990
合計	人数	262	130	48	645	37	132	62	143	124	153	154	1890
	割合	13.9	6.9	2.5	34.1	2.0	7.0	3.3	7.6	6.5	8.1	8.1	100.0

注意：GB・GG＝ゲートボール・グラウンドゴルフ

\*行っていない者、無回答者数を除く

② 競技スポーツの実施状況

競技スポーツ実施者の種目別実施状況は、男女における実施の割合に大きな差異は認められませんでした。

実施内容では、男性は、野球、ソフトボール、テニスが多く、女性では、バレーボール、卓球が多い傾向であることが分かりました。

また、自身の体力や運動不足感などは、競技スポーツ実施者と同様であることも分かりました。(表18)

表18 競技スポーツ実施内容 (複数回答)

項目		陸上競技	水泳	野球	サッカー	ソフトボール	バレーボール	テニス	卓球	その他	合計
男性	人数	15	2	38	23	36	25	33	21	55	248
女性	人数	3	7	2	5	2	84	36	65	33	237
合計	人数	18	9	40	28	38	109	69	86	88	485
	割合	3.7	1.9	8.2	5.8	7.9	22.5	14.2	17.7	18.1	100.0

\*行っていない者、無回答者数を除く



#### (4) スポーツ活動の場

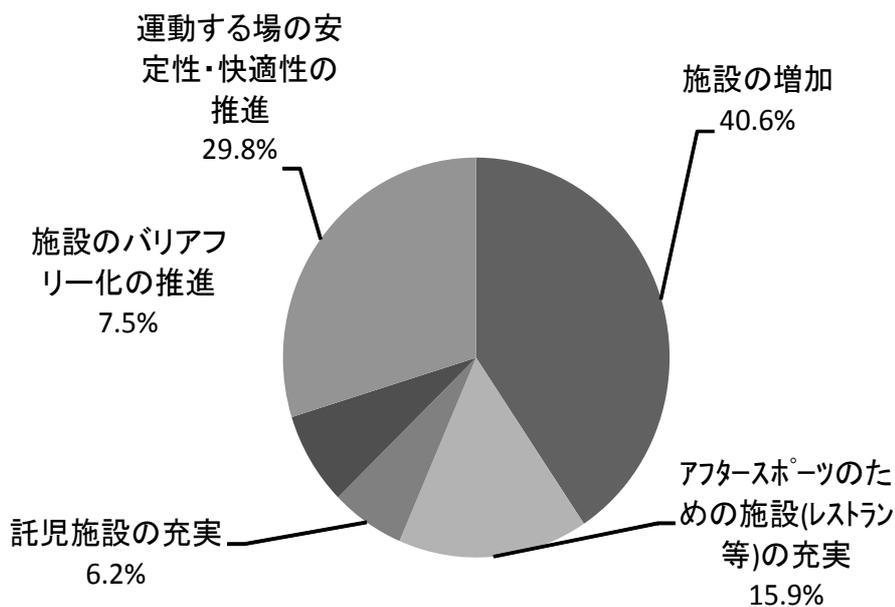
##### ① 公共スポーツ施設に望むこと

「公共スポーツ施設にどのようなことを望むか」については、施設の増加（40.6%）、運動する場の安定的・快適性の推進（29.8%）について期待が高まっており、次いでレストランなどの充実やバリアフリー化が続くことが分かりました。（表19、図13）

表19 運動・スポーツ施設への要望（複数回答）

項目	人数	割合(%)
施設の増加	829	40.6
アフタースポーツのための施設(レストラン等)の充実	325	15.9
託児施設の充実	126	6.2
施設のバリアフリー化の推進	154	7.5
運動する場の安定的・快適性の推進	609	29.8
合計	2043	100.0

図13 運動・スポーツ施設への要望（複数回答）



##### ② 施設の利用環境

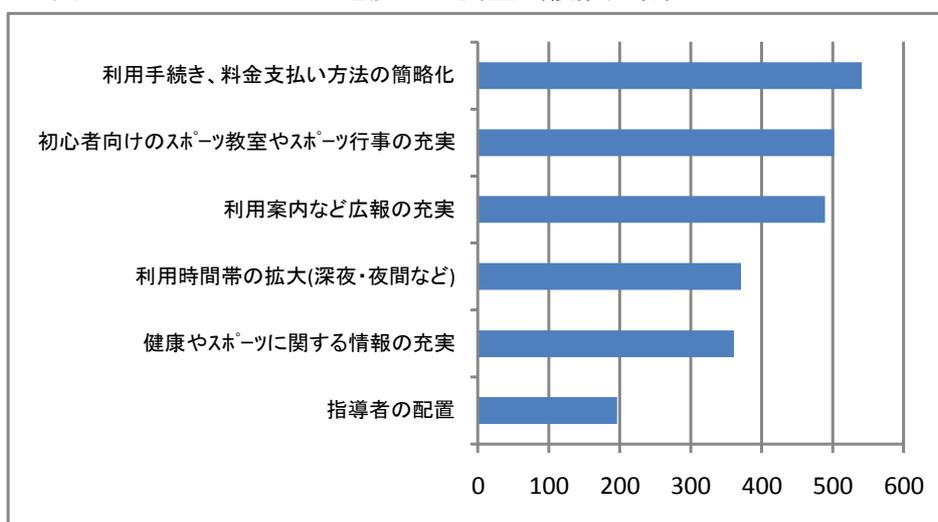
施設の利用環境に関しては、利用手続き、料金支払い方法の簡略化（22.0%）や初心者向けのスポーツ教室・行事の充実（20.4%）の要望が明らかとなり、指導者の配置（7.9%）については低位であることが分かりました。

（表20、図14）

表20 公共スポーツ施設への要望（複数回答）

項目	人数	割合(%)
利用手続き、料金支払い方法の簡略化	541	22.0
初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実	502	20.4
利用案内など広報の充実	489	19.9
利用時間帯の拡大(深夜・夜間など)	371	15.1
健康やスポーツに関する情報の充実	361	14.7
指導者の配置	196	7.9
合計	2460	100.0

図14 公共スポーツ施設への要望（複数回答）



### ③ 年代別の公共施設への要望

各年代とも「施設の増加」、「運動する場の安全性・快適性の推進」が他の項目よりも高い傾向が認められました。30代では、17.5%が「託児施設の充実」を要望しており、他の年代よりも高い傾向が明らかになりました。

年代が上がるにつれ安全性や快適性を要望する傾向が認められる。施設の増加は必須課題と考えられますが、その際に利用者は安全性や快適性も要望していることが認められます。(表21)

表 2 1 公共施設への要望（複数回答）

項 目	施設の増加	アフタースポーツのための施設の充実	託児施設の充実	施設のバリアフリー化の推進	運動する場の安全性・快適性の推進	合 計	
20代	人数	81	43	19	9	56	208
	割合%	39.0	20.7	9.1	4.3	26.9	100.0
30代	人数	133	41	59	14	91	338
	割合%	39.4	12.1	17.5	4.1	26.9	100.0
40代	人数	177	59	18	20	101	375
	割合%	47.2	15.8	4.8	5.3	26.9	100.0
50代	人数	189	91	10	36	148	474
	割合%	39.9	19.2	2.1	7.6	31.2	100.0
60代	人数	190	71	16	54	149	480
	割合%	39.6	14.8	3.3	11.3	31.0	100.0
70代	人数	59	20	4	21	64	168
	割合%	35.1	11.9	2.4	12.5	38.1	100.0
合計	人数	829	325	126	154	609	2043
	割合%	40.6	15.9	6.2	7.5	29.8	100.0

(5) スポーツ情報

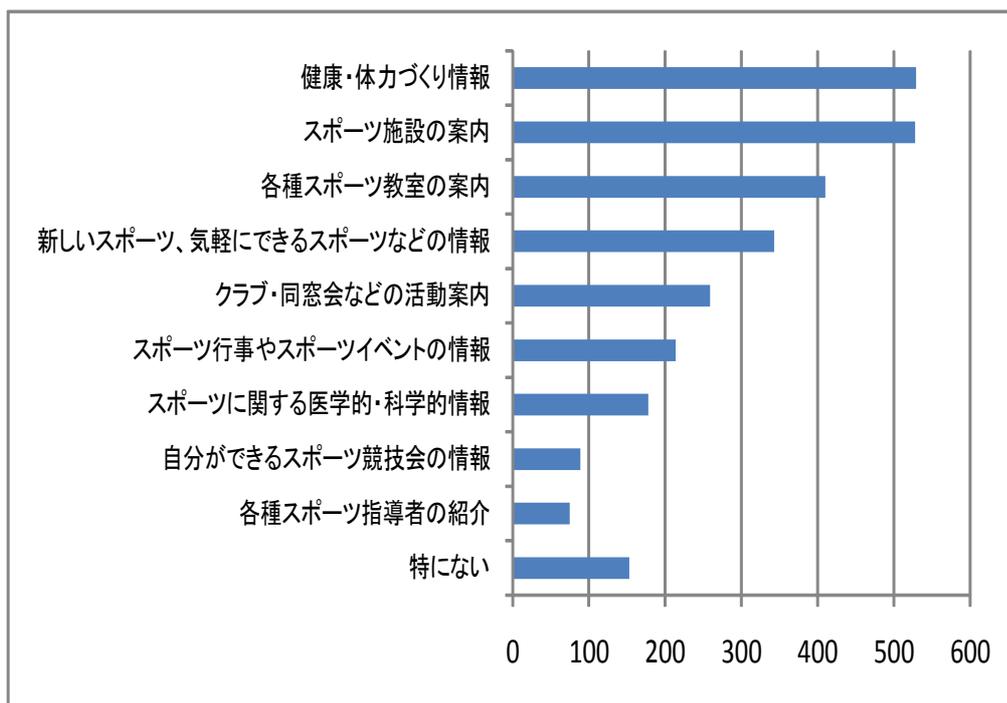
市民が求めるスポーツ情報についての調査では、健康・体力づくりの情報、スポーツ施設の案内についての情報提供がそれぞれ19.0%と多く望まれていることが分かりました。

また、自分ができるスポーツ競技会の情報（3.2%）や各種スポーツ指導者の紹介（2.7%）は少ないことが分かりました。（表22、図15）

表 2 2 運動・スポーツに関する情報内容への要望（複数回答）

項 目	人 数	割合(%)
健康・体力づくり情報	529	19.0
スポーツ施設の案内	528	19.0
各種スポーツ教室の案内	410	14.8
新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報	343	12.4
クラブ・同窓会などの活動案内	259	9.3
スポーツ行事やスポーツイベントの情報	214	7.7
スポーツに関する医学的・科学的情報	178	6.4
自分ができるスポーツ競技会の情報	89	3.2
各種スポーツ指導者の紹介	75	2.7
特になし	153	5.5
合 計	2778	100.0

図15 運動・スポーツに関する情報内容への要望（複数回答）

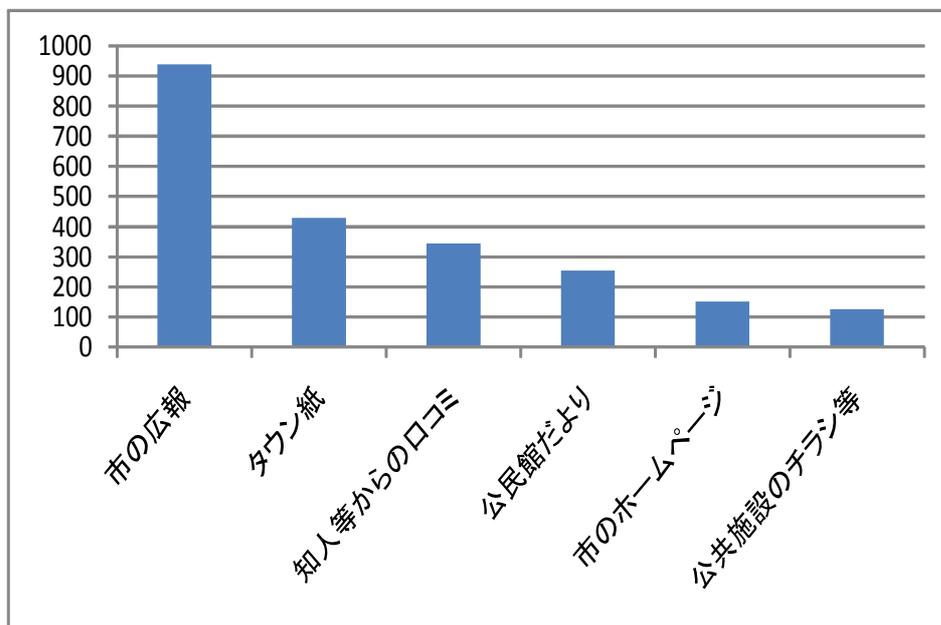


また、スポーツ情報をどのように情報収集しているかを尋ねたところ、市の広報（41.8%）が最も有力な情報源として捉えられていることが明らかになりました。（表23、図16）

表23 運動・スポーツ情報獲得の手段（複数回答）

項目	人数	割合(%)
市の広報	939	41.8
タウン紙	428	19.1
知人等からの口コミ	344	15.3
公民館だより	254	11.3
市のホームページ	152	6.8
公共施設のチラシ等	127	5.7
合計	2244	100.0

図16 運動・スポーツ情報獲得の手段（複数回答）



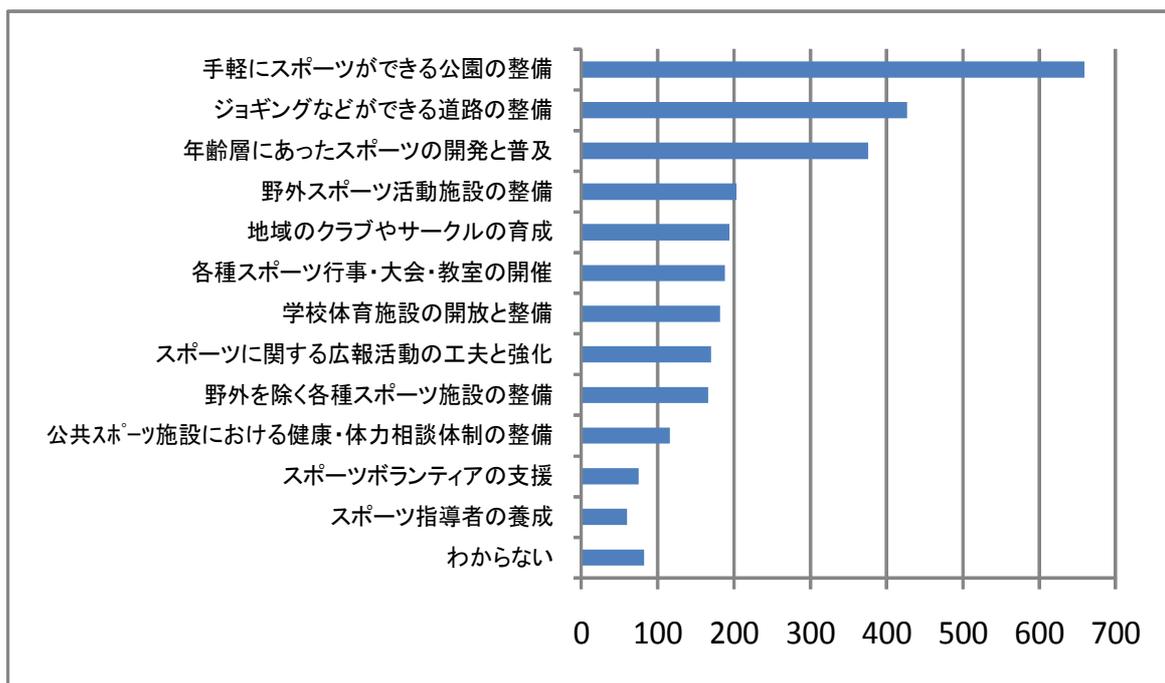
(6) スポーツ推進と期待される効果

「スポーツ振興を図るために、市は今後どのような取り組みをすべきか」について回答を得ました。その結果、手軽にスポーツができる公園の整備（22.7%）、ジョギングなどができる道路の整備（14.7%）、年齢層にあったスポーツの開発と普及（13.0%）が望まれていることが明らかになりました。（表24、図17）

表24 スポーツ振興のために市が取り組むべき課題（複数回答）

項目	人数	割合(%)
手軽にスポーツができる公園の整備	659	22.7
ジョギングなどができる道路の整備	427	14.7
年齢層にあったスポーツの開発と普及	376	13.0
野外スポーツ活動施設の整備	203	7.0
地域のクラブやサークルの育成	194	6.7
各種スポーツ行事・大会・教室の開催	188	6.5
学校体育施設の開放と整備	182	6.3
スポーツに関する広報活動の工夫と強化	170	5.9
野外を除く各種スポーツ施設の整備	166	5.7
公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備	116	4.0
スポーツボランティアの支援	75	2.6
スポーツ指導者の養成	60	2.1
わからない	82	2.8
合計	2898	100.0

図17 スポーツ振興のために市が取り組むべき課題（複数回答）



また、スポーツ振興にどのような効果を期待するかを質問したところ、余暇時間の有効活用（20.3%）や高齢者の生きがいがづくり（17.1%）に期待が持たれていることが明らかになりました。（表25）

表25 スポーツ振興により望まれる効果（複数回答）

項目	人数	割合(%)
余暇時間の有効活用	596	20.3
高齢者の生きがいがづくり	502	17.1
地域のコミュニティの形成	450	15.3
スポーツ施設の有効活用	432	14.7
地域の健康水準の改善	239	8.2
世代交流の促進	219	7.5
親子や家族の交流	217	7.4
青少年の健全育成	191	6.5
わからない	87	3.0
合計	2933	100.0

(7) 市調査の概要から見えてくる課題

① 居住区と健康・体力感について

健康感についての質問に、全ての地域で、「大いに健康である」、「まあ健康である」への回答が90%を超えており、このことから健康的な市民が多いということが推考されます。（表26）

表 2 6 居住区と健康感

項 目	健康でない	まあ健康である	大いに健康である	合 計
伊勢原北 人数	18 ( 8.3)	172 (79.3)	27 (12.4)	217
伊勢原南 人数	20 ( 6.3)	244 (77.0)	53 (16.7)	317
大山 人数	4 ( 8.3)	39 (81.3)	5 (10.4)	48
高部屋 人数	6 ( 5.4)	99 (88.4)	7 ( 6.2)	112
比々多 人数	11 ( 6.4)	135 (78.0)	27 (15.6)	173
成瀬 人数	20 ( 7.1)	219 (77.9)	42 (15.0)	281
大田 人数	7 ( 5.9)	96 (80.7)	16 (13.4)	119
不明 人数	1 ( 2.5)	34 (85.0)	5 (12.5)	40
合 計 人数	87 ( 6.7)	1037 (79.4)	182 (13.9)	1306

\* ( ) はパーセントを示す

\*無回答者数を除く

体力感では、高部屋地区を除く 6 地区で 8 0 %以上の住民が「自信がある」、「普通である」と回答しており、「自信がない」は 2 0 %未満であり、市民の多くが良好な体力水準を維持していると考えられます。(表 2 7)

表 2 7 居住区と体力感

項 目	自信がない	普通である	自信がある	合 計
伊勢原北 人数	43 (20.0)	150 (69.4)	23 (10.6)	216
伊勢原南 人数	57 (18.0)	218 (69.0)	41 (13.0)	316
大山 人数	9 (18.7)	38 (79.2)	1 ( 2.1)	48
高部屋 人数	25 (22.3)	81 (72.3)	6 ( 5.4)	112
比々多 人数	27 (15.7)	124 (72.1)	21 (12.2)	172
成瀬 人数	53 (18.9)	192 (68.3)	36 (12.8)	281
大田 人数	20 (16.9)	84 (71.2)	14 (11.9)	118
不明 人数	8 (20.0)	31 (77.5)	1 ( 2.5)	40
合 計 人数	242 (18.6)	918 (70.4)	143 (11.0)	1303

\* ( ) はパーセントを示す

\*無回答者数を除く

疲労感については、肉体的なもの と 精神的なもの とに分けて調査を実施したところ、全ての項目で精神的疲労(表 2 8)よりも肉体的疲労(表 2 9)を感じていることが明らかになりました。この「肉体的疲労」の原因を推考すると、その一つに体力の衰えが考えられます。体力の衰え感(表 3 0)をみると、大山地区以外の 6 地区で体力の衰えを「大いに感じる」、「少し感じる」と回答した割合が 9 0 %を超えていました。

表 2 8 居住区と精神的疲労感

項 目		感じない	少し感じる	大いに感じる	合 計
伊勢原北	人数	39 (18.0)	128 (59.0)	50 (23.0)	217
伊勢原南	人数	63 (20.0)	190 (60.0)	63 (20.0)	316
大山	人数	6 (12.8)	28 (59.6)	13 (27.6)	47
高部屋	人数	19 (16.9)	61 (54.5)	32 (28.6)	112
比々多	人数	28 (16.3)	116 (67.4)	28 (16.3)	172
成瀬	人数	39 (13.9)	192 (68.3)	50 (17.8)	281
大田	人数	16 (13.6)	79 (67.0)	23 (19.4)	118
不明	人数	4 (10.0)	26 (65.0)	10 (25.0)	40
合 計	人数	214 (16.4)	820 (63.0)	269 (20.6)	1303

\* ( ) はパーセントを示す

\*無回答者数を除く

表 2 9 居住区と肉体的疲労感

項 目		感じない	少し感じる	大いに感じる	合 計
伊勢原北	人数	28 (13.0)	152 (70.0)	37 (17.0)	217
伊勢原南	人数	40 (12.6)	223 (70.4)	54 (17.0)	317
大山	人数	6 (12.5)	34 (70.8)	8 (16.7)	48
高部屋	人数	9 ( 8.0)	82 (73.2)	21 (18.8)	112
比々多	人数	26 (15.0)	123 (71.1)	24 (13.9)	173
成瀬	人数	40 (14.2)	201 (71.6)	40 (14.2)	281
大田	人数	10 ( 8.5)	96 (81.3)	12 (10.2)	118
不明	人数	8 (20.0)	26 (65.0)	6 (15.0)	40
合 計	人数	167 (12.8)	937 (71.7)	202 (15.5)	1306

\* ( ) はパーセントを示す

\*無回答者数を除く

表 3 0 居住区と体力の衰え感

項 目		感じない	少し感じる	大いに感じる	合 計
伊勢原北	人数	20 ( 9.2)	132 (60.8)	65 (30.0)	217
伊勢原南	人数	27 ( 8.5)	206 (65.0)	84 (26.5)	317
大山	人数	7 (14.6)	26 (54.2)	15 (31.2)	48
高部屋	人数	6 ( 5.3)	62 (55.4)	44 (39.3)	112
比々多	人数	12 ( 6.3)	119 (68.8)	42 (24.3)	173
成瀬	人数	19 ( 6.8)	181 (64.4)	81 (28.8)	281
大田	人数	11 ( 9.3)	75 (63.6)	32 (27.1)	118
不明	人数	4 (10.0)	25 (62.5)	11 (27.5)	40
合 計	人数	106 ( 8.1)	826 (63.3)	374 (28.6)	1306

\* ( ) はパーセントを示す

\*無回答者数を除く

体力の衰えの原因も様々考えられますが、その原因の一つとして運動不足が考えられます。運動不足感では、高部屋地区で92%の人が運動不足を感じており、市民に対する運動実施のための施策の必要性を示唆するものと考えられます。(表31)

表31 居住区と運動不足感

項 目		感じない	少し感じる	大いに感じる	合 計
伊勢原北	人数	39 (18.0)	106 (48.8)	72 (33.2)	217
伊勢原南	人数	58 (18.3)	149 (47.0)	110 (34.7)	317
大山	人数	9 (19.1)	18 (38.3)	20 (42.6)	47
高部屋	人数	9 (8.0)	62 (55.4)	41 (36.6)	112
比々多	人数	30 (17.3)	74 (42.8)	69 (39.9)	173
成瀬	人数	64 (22.8)	122 (43.4)	95 (33.8)	281
大田	人数	23 (19.5)	54 (45.8)	41 (34.7)	118
不明	人数	6 (15.0)	17 (42.5)	17 (42.5)	40
合 計	人数	238 (18.3)	602 (46.1)	465 (35.6)	1305

\* ( ) はパーセントを示す

\*無回答者数を除く

② 年代と健康・体力感について

市調査では、6つの年代(20代、30代、40代、50代、60代、70代)について調査を実施しました。健康感では、70代を除く5つの年代で「大いに健康である」、「まあ健康である」という回答(以下「健康的な回答」という。)が90%を超えており、健康的な市民が多いと考えられます。

また、70代においても、約85%が「大いに健康である」、「まあ健康である」と回答しており、市民の健康感が高いことが明らかになりました。(表32)

表32 年代と健康感

項 目		健康でない	まあ健康である	大いに健康である	合 計
20代	人数	9 (7.4)	82 (67.2)	31 (25.4)	122
30代	人数	11 (5.4)	162 (79.0)	32 (15.6)	205
40代	人数	11 (4.5)	208 (84.9)	26 (10.6)	245
50代	人数	14 (5.0)	227 (81.7)	37 (13.3)	278
60代	人数	21 (6.7)	257 (82.4)	34 (10.9)	312
70代	人数	21 (14.6)	101 (70.1)	22 (15.3)	144
合 計	人数	87 (6.7)	1037 (79.4)	182 (13.9)	1306

\* ( ) はパーセントを示す

\*無回答者数を除く

体力感では、30代、40代、50代が「自信がない」と答える割合が高く、健康感が高くても体力が高いとは言えないことが明らかになりました。(表33)

表33 年代と体力感

項目		自信がない	普通である	自信がある	合計
20代	人数	21 (17.2)	82 (67.2)	19 (15.6)	122
30代	人数	48 (23.6)	139 (68.5)	16 (7.9)	203
40代	人数	51 (21.0)	165 (67.9)	27 (11.1)	243
50代	人数	49 (17.7)	194 (70.3)	33 (12.0)	276
60代	人数	44 (14.2)	233 (75.2)	33 (10.6)	310
70代	人数	28 (19.5)	101 (70.1)	15 (10.4)	144
合計	人数	241 (18.6)	914 (70.4)	143 (11.0)	1298

\* ( ) はパーセントを示す

\*無回答者数を除く

### ③ 年代と疲労・運動不足感

肉体的疲労感では、40代をピークに疲労を感じる割合が高くなり、50代から70代にかけて再び「感じない」という回答が増えました。(表34)

表34 年代と肉体的疲労感

項目		感じない	少し感じる	大いに感じる	合計
20代	人数	24 (19.7)	75 (61.5)	23 (18.8)	122
30代	人数	22 (10.8)	141 (69.1)	41 (20.1)	204
40代	人数	16 (6.6)	176 (72.4)	51 (21.0)	243
50代	人数	32 (11.6)	212 (76.5)	33 (11.9)	277
60代	人数	48 (15.4)	236 (75.9)	27 (8.7)	311
70代	人数	25 (17.4)	94 (65.2)	25 (17.4)	144
合計	人数	167 (12.8)	934 (71.8)	200 (15.4)	1301

\* ( ) はパーセントを示す

\*無回答者数を除く



精神的疲労感は、肉体的疲労感と類似した傾向が認められましたが、70代を除く5つの年代で「大いに感じる」と回答する割合が肉体的疲労感と比較し、高いことが明らかになりました。

特に40代では、肉体的疲労感、精神的疲労感ともに「大いに感じる」が最も高いことが分かりました。(表35)

表35 年代と精神的疲労感

項 目		感じない	少し感じる	大いに感じる	合 計
20代	人数	20 (16.4)	64 (52.5)	38 (31.1)	122
30代	人数	20 (9.8)	138 (68.0)	45 (22.2)	203
40代	人数	22 (9.0)	144 (59.3)	77 (31.7)	243
50代	人数	32 (11.6)	182 (65.7)	63 (22.7)	277
60代	人数	74 (23.9)	204 (65.8)	32 (10.3)	310
70代	人数	46 (32.0)	85 (59.0)	13 (9.0)	144
合 計	人数	214 (16.5)	817 (62.9)	268 (20.6)	1299

\* ( ) はパーセントを示す

\*無回答者数を除く

また、運動不足感では30代、40代の「少し感じる」、「大いに感じる」と回答する割合が高く、この結果から疲労、体力の衰え、運動不足において相互関係していることが推察されます。(表36)

表36 年代と運動不足感

項 目		感じない	少し感じる	大いに感じる	合 計
20代	人数	22 (18.0)	42 (34.4)	58 (47.6)	122
30代	人数	20 (9.8)	85 (41.7)	99 (48.5)	204
40代	人数	25 (10.3)	112 (46.1)	106 (43.6)	243
50代	人数	56 (20.2)	119 (43.0)	102 (36.8)	277
60代	人数	71 (22.9)	178 (57.4)	61 (19.7)	310
70代	人数	43 (29.9)	66 (45.8)	35 (24.3)	144
合 計	人数	237 (18.2)	602 (46.3)	461 (35.5)	1300

\* ( ) はパーセントを示す

\*無回答者数を除く



④ 年代とスポーツ実施状況

50代、70代を除く4つの年代で、運動・スポーツの実施は80%を超えていることが明らかになりました。一方、50代、70代の年代においても75%以上が何らかの運動・スポーツを実施していることが分かりました。(表37)

表37 年代とスポーツ実施状況

項目	していない	している	合計
20代 人数	18 (14.8)	104 (85.2)	122
30代 人数	39 (19.1)	165 (80.9)	204
40代 人数	46 (18.8)	199 (81.2)	245
50代 人数	59 (21.3)	218 (78.7)	277
60代 人数	49 (15.8)	261 (84.2)	310
70代 人数	35 (24.8)	106 (75.2)	141
合計 人数	246 (18.9)	1053 (81.1)	1299

\* ()はパーセントを示す

\*無回答者数を除く

運動・スポーツをこの一年間で30分以上行った日数では、20代、30代以外の4つの年代では、伊勢原市市民生涯スポーツ推進基本計画における目標値(週1回30分以上の運動・スポーツ実施率45%以上)を上回りました(表2)が、20代、30代では目標値を下回りました。20代、30代の運動・スポーツ非実施理由では、20代で「機会がなかった」と回答する割合が88.2%あり、30代では「時間がなかった」が70%を示しました。(表38)

調査の結果、男女ともに、非実施要因は「時間がなかった」、「機会がなかった」の回答割合が高いことが明らかになった。一方、「仲間がいない」という項目も割合が高く、運動・スポーツを実施する上で、仲間が重要であることが明らかになりました。

表38 運動・スポーツ非実施の理由(複数回答)

項目	スポーツ非実施の理由											合計
	時間がなかった	機会がなかった	年をとった	仲間がいない	体が弱い	場所や施設がない	金がかかると嫌	運動・スポーツは嫌い	その他	指導者がいない		
男性	人数	43	47	21	21	4	11	6	13	10	1	177
	割合%	24.3	26.6	11.8	11.8	2.3	6.2	3.4	7.3	5.7	0.6	100.0
女性	人数	79	98	25	29	9	17	21	16	32	2	328
	割合%	24.1	29.9	7.6	8.8	2.7	5.2	6.4	4.9	9.8	0.6	100.0
合計	人数	122	145	46	50	13	28	27	29	42	3	505
	割合%	24.2	28.7	9.1	9.9	2.6	5.5	5.4	5.7	8.3	0.6	100.0

### 3 前計画による取組とこれまでの評価

スポーツに親しめる環境づくりを推進したことで、市民のスポーツ活動への参加が増加しました。

また、市民ニーズの把握に努め運動の機会の提供や各種スポーツ事業の展開を図りました。

さらに、スポーツ関係団体への支援や指導者の育成を図り競技スポーツのレベル向上及び競技意欲の増進を図りました。

その結果、以下の指標に示すように、概ね初期の目標は達成されました。

その一方で、今後も少子高齢化や健康づくり習慣の形成などがさらに重要となるため、施策の継続と充実が求められていると評価しました。

#### 【目標と実績】

目 標 項 目	目 標	実 績
運動実施率(週1回30分以上運動)	45%	50.7%(市調査)
総合型地域スポーツクラブの創設	1クラブ	1クラブ(平成22年2月創設)
スポーツ競技大会参加者数	7,000人	7,005人(平成22年度)
スポーツ情報システムの整備	情報提供の多様化	ホームページの活用等推進

\*スポーツ競技大会参加者数については、平成23年度は、東日本大震災の影響があったため、平成22年度数値を記載しました。

#### (1) 運動実施率

前計画では、成人の週1回30分以上の運動・スポーツ実施率の目標を45%としていたましたが、市調査では50.7%を示し、目標を達していることがわかりました。(表2)

また、運動・スポーツをした理由については「健康・体力づくり」が25.8%次いで、「楽しみ、気晴らし」が24%、「友人・仲間との交流」が17.9%、「運動不足を感じる」が16.4%を占めました。(表3)

#### (2) 総合型地域スポーツクラブの創設

##### 設立の経過

本市と学校法人東海大学は、平成20年9月11日に包括的な提携に関する協定書を締結し、更なる関係の強化が図られました。このことを踏まえ、本市と東海大学健康科学部及び体育学部の有志教職員により、「総合型地域スポーツクラブ東海大学健康クラブ」が、平成22年2月20日に設立されました。

### 活動目標

- 1 市民の運動・スポーツ活動を支援し、市民の健康寿命の延伸に寄与すること。
- 2 運動・栄養・休養の実践を推進し、身体測定等の科学的データの蓄積により、個々人の活動成果を確認しつつ活動の継続化を支援すること。

また、具体の活動としては、平成21年度から「東海大学市民健康スポーツ大学」や「市民のための健康測定」等を開催し、多くの市民の健康推進に貢献しています。

### (3) スポーツ競技大会参加者数

スポーツ競技人口の拡大は、市民がスポーツを日常生活に取り入れることであり、スポーツに通じる人材の育成を推進することで将来のスポーツ指導者への成長を期待するスポーツの好循環社会の実現も欠かせない事項です。さらに、スポーツ競技人口の拡大は、スポーツボランティアの育成に直結する事柄であり、スポーツイベントの実現に欠くことのできない人材育成に通じるものです。

また、少子高齢化社会の進展は、競技者人口の減少化に繋がるものでもあり、なお一層の競技者の育成が求められています。

平成22年度：スポーツ競技大会参加者数 7,005人  
(目標値：7,000人)

### (4) スポーツ情報システムの整備

市民が気軽に、主体的にスポーツに取り組むために必要な情報提供に努め、スポーツ活動に興味・関心を育む情報を多様な媒体を活用し提供する仕組みづくりを進めました。

特に、本市ホームページを活用した情報提供や関係組織等へのリンクの円滑化を進めました。また、公共施設利用予約システムを導入し、施設利用者の利便の向上に努めました。



## 4 策定に向けた新たな視点

スポーツ基本法において、「すべての人々がスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことができる社会の創出を目指していくことが重要である」との考え方を斟酌するとともに、第5次伊勢原市総合計画の目指す「暮らし力」、「自治力」を高めいきいきと活力のあるまちづくりにスポーツの視点から寄与し、教育振興基本計画等既存計画との連携を図るなかでこの計画を策定しました。

### (1) 第5次伊勢原市総合計画から（平成25年度～34年度）

- ① 暮らし力  
健やかに生き生きと暮らせるまちづくりにおける「自ら取り組む健康づくりの推進」
- ② 自治力  
市民と行政が共に力を合わせて歩むまちづくりに向けた「市民協働の推進」、「地域運営の推進」

### (2) 伊勢原市教育振興基本計画から（平成25年度～29年度）

- ① 学校・家庭・地域との連携強化  
子どもや若者の健全育成のための支援を推進します。
- ② 生涯スポーツの推進  
スポーツ・レクリエーション活動の充実と支援を推進します。



## 第2章 伊勢原市市民生涯スポーツ推進基本計画

### 1 計画の位置づけ

この計画は、スポーツ基本法（平成23年法律第78号「以下「基本法」という。」）第10条に規定する計画であり、今後の伊勢原市のまちづくりの指針である「第5次伊勢原市総合計画」や「伊勢原市教育振興基本計画」など関係する上位計画にも位置づけされるものです。

### 2 基本的事項

#### (1) 基本理念と基本目標

スポーツは、心身の健全な発達、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神的なかん養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体的活動であり、人々が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものとなっています。

スポーツは、人と人との交流および地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものです。

近年の社会的背景から生じている今日的課題として、健康の維持増進、生活習慣病の予防、高齢者や障害者の社会参加の促進および母子の健康・体力づくりの推進、子どもの体力向上、青少年の健全育成あるいは地域の教育力の向上や活力ある地域社会づくりなど、暮らし力や地域の自治力の更なる推進が求められています。

スポーツは、心身の健康の保持増進に重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠なものであることから、「誰もが、いつでも、どこでも」生涯にわたりスポーツに親しめる環境づくりを市民協働で推進するため「市民が主体の生涯スポーツ社会の実現」を伊勢原市市民生涯スポーツ推進基本計画の基本理念とします。

## 基本理念と基本目標

誰もが、いつでも、どこでも生涯にわたりスポーツに親しめる環境づくりを市民との協働で推進することとします。

### 基本理念

**市民が主体の生涯スポーツ社会の実現**

## 基本目標

スポーツをつなぐ情報提供の推進  
スポーツを支える人材の育成  
スポーツをする場所の整備  
スポーツをする機会の充実

### (2) 基本施策

市調査によると、運動やスポーツを実施しなかった理由は、「機会がなかった」が28.7%あり、前回調査時と比べ8.6ポイント増加していました。

このことは、スポーツ情報の提供や周知活動等に改善が求められていることを示すと同時に、従前と比べ機会があれば運動・スポーツ活動を実践したいと考えている市民が増加していることを表しており「潜在的なスポーツ愛好者」が非常に多く存在していることが明らかになりました。

スポーツ活動に接したいという多くの市民に対し、その機会を提供し、運動・スポーツ活動の日常化と健康・体力づくりを推進するために、市民自らが運動・スポーツ活動に参画し、継続することのできる環境整備が求められています。

本計画では、基本理念の実現と基本目標の達成に向けて、市民自らが生涯を通じて運動・スポーツ活動に親しむことのできる環境整備を目指し施策（行動計画）として12項目の充実を位置付けます。

なお、施策の実施目標として、成人の運動・スポーツの実施状況を次のとおり設定します。

## 実施目標

- ◇ 週1回30分以上の運動・スポーツ実施率を65%程度
- ◇ 週2回30分以上の運動・スポーツ実施率を50%程度
- ◇ 週3回30分以上の運動・スポーツ実施率を30%程度



・・施策（行動計画）・・

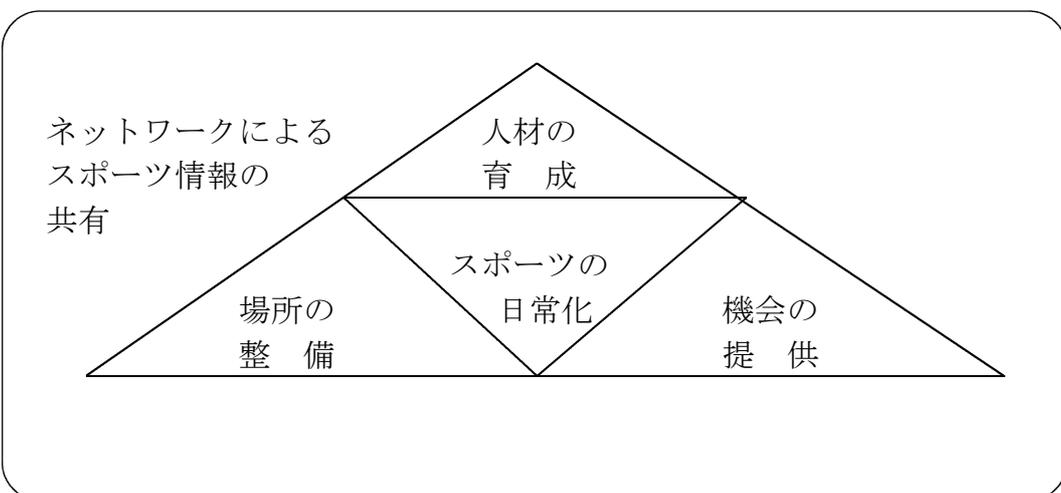
- ① スポーツをつなぐ情報提供の推進  
ア スポーツ情報提供システムの整備と充実  
イ スポーツ情報の活用促進

- ② スポーツを支える人材の育成  
ア スポーツ指導者の養成確保と活用  
イ スポーツボランティアの組織や仕組みの整備

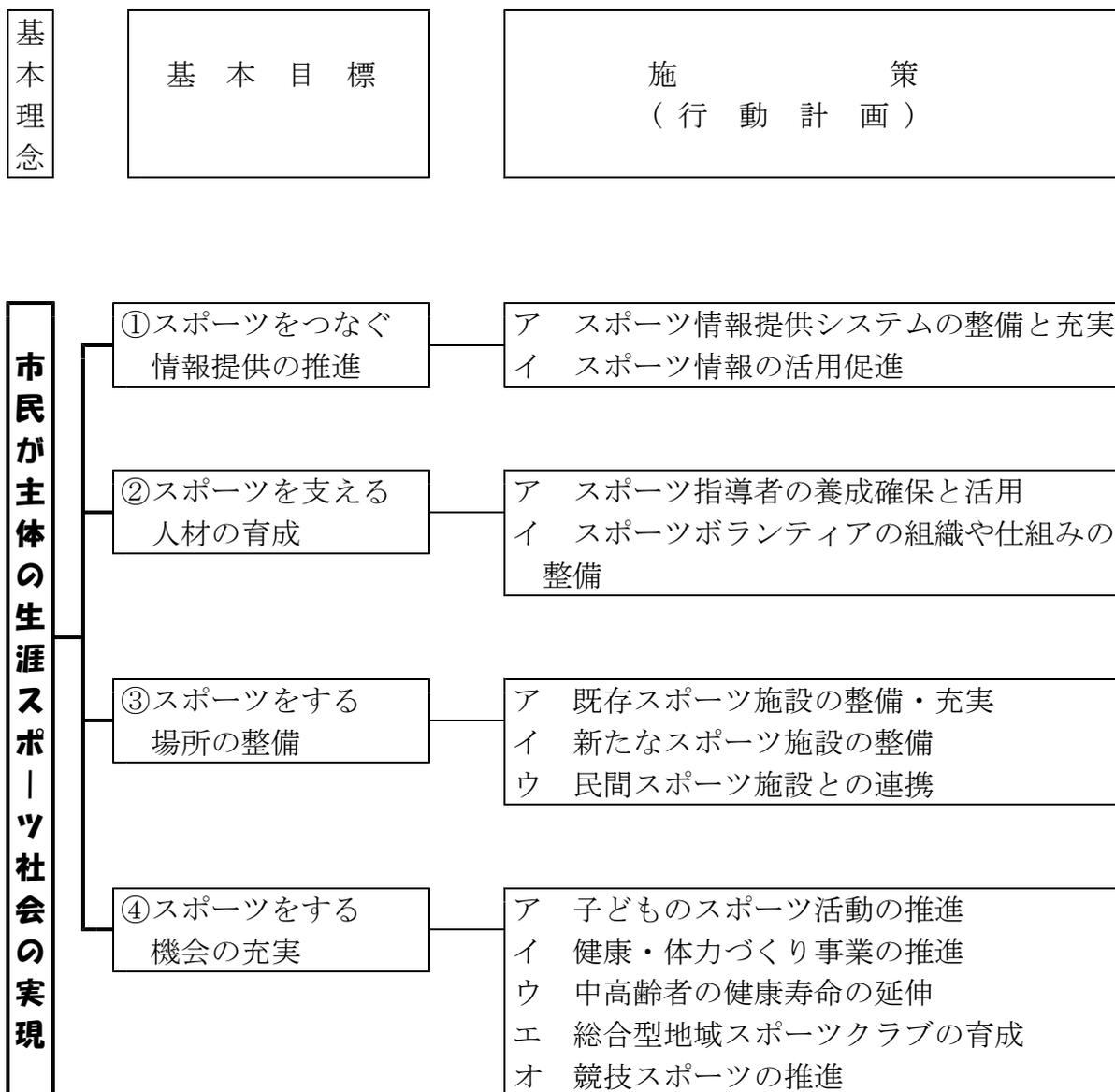
- ③ スポーツをする場所の整備  
ア 既存スポーツ施設の整備・充実  
イ 新たなスポーツ施設の整備  
ウ 民間スポーツ施設との連携

- ④ スポーツをする機会の充実  
ア 子どものスポーツ活動の推進  
イ 健康・体力づくり事業の振興  
ウ 中高齢者の健康寿命の延伸  
エ 総合型地域スポーツクラブの育成  
オ 競技スポーツの推進

・・情報ネットワーク・・



(3) 計画の施策体系図



#### (4) 分野別施策

##### ① スポーツをつなぐ情報提供の推進

###### ア スポーツ情報提供システムの整備・充実

運動やスポーツを始めるきっかけづくりや継続を支援するための情報提供を進めます。

- (ア) スポーツ関係団体のホームページの開設の促進・支援を図ります。
- (イ) スポーツ団体情報のネットワーク化を推進します。
- (ウ) 地域のスポーツイベントなどをタイムリーに情報提供できる仕組みづくりに取り組みます。

…目指す姿…



- a 情報により、運動・スポーツをする機会を得た市民の増加を期待します。
- b スポーツ・健康情報を提供するホームページの情報の充実が図られます。
- c より、分かり易いスポーツ関係団体の情報の提供が図られます。

###### イ スポーツ情報の活用促進

分かり易いホームページ作成に努め、誰でもが簡易に必要なスポーツ情報を得ることができるシステムづくりに努めます。

- (ア) スポーツ施設情報の一元化（予約システム）の円滑な運用を推進します。
- (イ) スポーツ・健康情報を提供するホームページの情報の充実を図ります。
- (ウ) リアルタイムで情報提供事業等への参加申込、問い合わせができるシステムの構築を図ります。

…目指す姿…



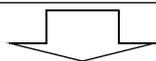
- a スポーツ施設の円滑な利用が促進されます。
- b 健康に関する情報もスポーツ情報と関連づけて提供できるようにします。
- c 情報利用者が簡易に情報を活かすことのできる環境が整備されます。

## ② スポーツを支える人材の育成

### ア スポーツ指導者の養成確保と活用

- (ア) 地域のスポーツコーディネーターやスポーツ活動に関する連絡調整役としてのスポーツ推進委員の研修を進めます。
- (イ) 公認スポーツ指導者や障害者スポーツ指導者の発掘・連携を推進します。
- (ウ) 大学や総合型地域スポーツクラブ、企業、民間スポーツクラブ等との連携の強化を進めます。

…目指す姿…



- a 地区(学区)体力づくり振興会活動がより大きく円滑に推進され、地域内の住民相互の連携強化や健康寿命の延伸が図られます。
- b スポーツの好循環が形成され、スポーツ活動の進化が進みます。
- c 障害者スポーツの一層の展開が図られることで、スポーツを通じた人の輪の一層の進展が図られます。

### イ スポーツボランティアの組織や仕組みの整備

- (ア) スポーツボランティアの魅力や楽しさを伝え、多くのボランティアの確保に努めます。
- (イ) スポーツ関係団体によるスポーツ活動の支援を行い、市民相互の協働によるスポーツイベントを推進します。

…目指す姿…



- a より多くの市民に支えられたスポーツイベントの実現が図られます。
- b スポーツ関係団体と協働して、より多くの市民参加によるスポーツ事業が展開できます。

### ③ スポーツをする場所の整備

#### ア 既存スポーツ施設の整備・充実

- (ア) 都市公園など身近な施設の有効活用に努めます。
- (イ) 公共施設の管理運営やバリアフリー化等の検討を進めます。
- (ウ) 学校体育施設の計画的な改修・整備と活用の促進を図ります。
- (エ) 大田すこやかスポーツ広場用地の取得を推進し、一層の有効活用を図ります。
- (オ) 施設利用手続き等の簡素化を検討し、利便の向上に努めます。

…目指す姿…



- a 子育て中の女性や幼児及び高齢者、障害者にとっても利用しやすく魅力ある施設づくりが図られます。
- b 誰もが気軽に運動やスポーツに接することができる環境が整備されます。
- c 施設の安定性や快適性の確保と有効活用が図られます。

#### イ 新たなスポーツ施設の整備

- (ア) 未設置スポーツ施設の整備について検討を進めます。
- (イ) 将来の施設整備に向け、優先度や仕様等の研究を進めます。
- (ウ) 新たなスポーツ広場用地の確保や高規格道路下の有効活用の検討を進めます。

…目指す姿…



- a 未設置スポーツ施設の整備により、スポーツ活動が円滑になり、土地の有効活用が図られます。

#### ウ 民間スポーツ施設との連携

- (ア) 不足する公設スポーツ施設の補完として、民間体育施設の開放を進めます。

…目指す姿…



- a テニスコートやプール等、民間事業者が所有するスポーツ施設の開放を関係者と協働して市民の利用に供することにより、生涯スポーツの活性化を図ることができます。

#### ④ スポーツをする機会の充実

##### ア 子どものスポーツ活動の推進

- (ア) 子どもの体力向上を目指し、様々な少年スポーツ競技大会を展開します。
- (イ) 少年スポーツ活動の牽引役でもあるスポーツ少年団本部活動の支援を継続し、子どものスポーツ環境の維持向上を進めます。
- (ウ) 地区（学区）体力づくり振興会と連携し、青少年の健全育成をスポーツを通じて推進します。
- (エ) 青少年関係団体との連携を進め、青少年スポーツ活動の進展を図ります。

…目指す姿…



- a 子ども達の心身の発達を支援することにより、心と体の健全な育成が図られます。
- b 少年期におけるスポーツへの関わりを深めることで、健全な生活習慣を身に付けられます。
- c 地域（学区）一体となり、スポーツをキーワードに、地域の子どもの健全な育成と、地域の教育力の向上が図られます。

##### イ 健康・体力づくり事業の振興

- (ア) 健康づくりに向けた啓発活動として3033運動を推進します。
- (イ) 体力づくり組織の育成と事業を支援し、さらに市主催や市民協働等による各種スポーツ大会、教室等を開催し、スポーツに参加する機会を提供します。
- (ウ) スポーツ推進委員による地域スポーツ活動の推進を支援します。
- (エ) スポーツの日常化を進め、長寿社会の形成と健康寿命の延伸を図ります。
- (オ) 生活習慣病予防のための運動やスポーツの推進します。
- (カ) 健康いせはら21・いせはらっ子応援プランとの連携を図ります。

…目指す姿…



- a 1日30分、週3回、3カ月間の運動・スポーツ活動により運動習慣が身につき体調が良くなるなど、運動の効果を実感する市民の増加を目指します。
- b 地区（学区）体力づくり振興会と協働し、住民の運動・スポーツ活動の推進を図り、心身両面にわたる健康の保持増進を進め医療費等の節減を目指します。
- c スポーツ推進委員を主体にスポーツ活動の日常化に向けた活動を進め、地域内住民相互の連携強化と健康寿命の延伸を目指します。
- d 市民協働を基盤として継続的に運動・スポーツ活動の機会を提供し、運動習慣を身に付け生活習慣病予防や、改善に取り組む市民の増加を目指します。

### ウ 中高齢者の健康寿命の延伸

- (ア) 超高齢社会の中、新たな中高齢者向けの教室や大会等の開催を検討します。
- (イ) 健康・体力づくりのためのトレーニングの機会の提供に努めます。
- (ウ) 高齢期の転倒骨折予防のためにも中高齢期の健康・体力の維持・増進を図ります。

…目指す姿…



- a シニア・スポーツ教室や大会等の検討を進め、元気高齢者の増加が図られます。
- b 生活習慣病の予防を目的とした運動・スポーツ活動を展開することにより、中高齢者の健康の維持・増進が図られます。
- c 中高年期以降の生活習慣の見直しの機会を提供することにより、長期的な筋力の維持・増強が図られる環境がつけられます。

### エ 総合型地域スポーツクラブの育成

- (ア) 中高齢者の健康・体力づくりや健康寿命の延伸を標榜する総合型地域スポーツクラブの活動を支援します。
- (イ) 子育ての悩みの解消や自身のリフレッシュ、各種相談等を行い、明るく楽しい子育てライフをスポーツの観点から支援する総合型地域スポーツクラブの創設を支援します。
- (ウ) 市民が主体の生涯スポーツ社会の実現を図るため、誰もが参加できる総合型地域スポーツクラブを育成・支援します。

…目指す姿…



- a 中高齢者への運動・スポーツ活動の機会の提供及び継続の支援を行います。
- b スポーツを介して子育ての仲間づくりや子育て相談を進め、好人関係による豊かな子育て環境の醸成を目指します。
- c 子育て中の女性及びその子(乳幼児)に対する運動の機会を提供し、乳幼児期からの運動へのふれあいと、少年期に向けた子どもの体力の低下傾向への歯止めをかけ、体力の上昇傾向を生み出すことを目指します。
- d 市民協働により、障害の有無、年齢や性別、競技レベルに応じて、スポーツに親しむことのできる環境を目指します。

## オ 競技スポーツの推進

- (ア) スポーツ関係団体の育成・支援及び協働の推進
- (イ) 学校部活動との連携及び支援
- (ウ) スポーツ教室・大会等の開催
- (エ) 障害者スポーツ大会の充実とシニア・スポーツ大会の検討
- (オ) 各種スポーツ大会への選手強化派遣事業の推進
- (カ) スポーツ賞、スポーツ奨励賞制度の承継
- (キ) 全国大会等出場者への激励・支援
- (ク) スポーツを通じた地域振興の推進



### ・・・目指す姿・・・

- a スポーツ関係団体の育成支援を図り、スポーツの日常化を進め、もって競技人口の増加と組織の拡大及びスポーツの好循環の実現を目指します。
- b 学校部活動とスポーツ関係団体及びスポーツ行政の連携を進め、より良いスポーツ環境の醸成を目指します。
- c 各種スポーツ大会への選手・役員の派遣を継続することにより、スポーツの推進が一層図られます。
- d 市スポーツ賞、スポーツ奨励賞による顕彰の継続と、競技指導・団体運営に貢献した者の顕彰により、モチベーションの向上が図られます。
- e スポーツ競技による全国大会等出場者激励金交付制度を継続します。
- f 特色あるスポーツ施設を活用した競技の推進により、地域の活性化を目指します。
- g 全国大会等の招致により、見るスポーツの推進と地域振興を目指します。



## (5) 計画実現に向けた役割

### ・ 今日的課題 ・

市調査で、運動やスポーツをした理由を尋ねたところ、「健康・体力づくりのためと運動不足を感じるから」が42.2%、「楽しみ、気晴らし」が24.0%、「友人・仲間との交流」が17.9%でした。これにより、体力の維持・増進ができ、友人・仲間と気晴らしができるスポーツ環境が求められていることが示唆されました。

### 市民の役割

- ① 市民自らが主体となって運動・スポーツ活動を実践し、さらには周囲の人々に運動・スポーツ活動を推奨・支援する推進者となることが期待されます。
- ② 各世代に対応するスポーツを通じた活動が求められています。
  - ・ 少年期や青年期には体力の向上を図るほか、仲間との関係を深め、ルールを守る大切さを身につけさせることなど、青少年の健全育成が重要です。
  - ・ 成人期や高齢期には健康管理や体力の保持に努めることが望まれています。
- ③ スポーツの実践や指導等を通じ、次世代のリーダーを育成することが重要です。

### 家庭の役割

家族がスポーツに参加してみたいという意思を尊重し、家族で共通のスポーツをしたり、見たり、地域の行事に積極的に参加したりするなど、スポーツを通じた、心身ともに健康な家庭づくりが必要です。

### 地域社会の役割

- ① 地域は住民に最も身近な社会です。地域の状況に応じた、健康づくりやスポーツ・レクリエーション活動を日常生活に取り入れることが重要となってきます。
- ② 住民のスポーツ活動の日常化を進めていくため、スポーツ推進委員による地域のスポーツ活動のコーディネートが大きく期待されています。
- ③ 地域住民の体力の維持増進、異年齢間の交流促進を図り、学校や企業、行政と連携し、地域の教育力、暮らし力の向上が期待されます。

## 学校の役割

- ① 体育の授業や部活動を通して、児童生徒の体力向上に努めるとともに、スポーツに親しめる環境づくりと仲間づくり、ルールを守ることの大切さ、努力することの喜びを分かち合える一層の教育環境の整備が望まれます。
- ② 学校体育施設である体育館やグラウンドの開放を継続し、市民スポーツの推進に寄与することが期待されています。

## 大学の役割

- ① 学内スポーツの推進と地域住民へのスポーツ施設の開放の拡大、スポーツ指導者の派遣、スポーツ団体との交流など、地域との連携強化が望まれます。
- ② 地域、企業、行政と連携したスポーツや健康に関する調査研究の実施とその成果のフィードバックなどが期待されます。

## 企業の役割

- ① 企業内スポーツ活動を奨励し、従業員及びその家族の健康増進を図るとともに、従業員等が生活の中で地域スポーツ活動に参加し、または指導できる環境をつくることが求められています。
- ② 企業が地域の一員として、自社のスポーツ施設を地域に開放することや、スポーツイベントの開催に向けた協力・支援が期待されています。

## 民間スポーツ事業者の役割

- ① スポーツをキーワードに行政や大学等との連携を深め、新たなスポーツ文化の形成に寄与することが望まれています。
- ② 企業として、サービス利用顧客や来場者への支援を推進するとともに、地域の一員として、活動場所の提供協力やスポーツ指導者の派遣などスポーツ活動への一層の貢献が期待されています。

## 体育協会等スポーツ団体の役割

スポーツ関係団体相互の連携を一層強化し、スポーツに参加する市民と、スポーツに関わる市民を拡大する役割が期待されます。

- ① 体育協会
  - ・ スポーツ人口の拡大、競技力の向上、スポーツ少年団の育成・支援の継続が望まれます。
  - ・ スポーツ競技大会やイベントの実施、指導者の育成や派遣の継続が期待されています。
- ② スポーツ少年団
  - ・ スポーツを通じた青少年の健全育成の推進に一層の期待がされています。
  - ・ 青少年にスポーツの機会を提供することや継続の支援が今後も望まれます。
- ③ レクリエーション協会
  - ・ レクリエーション活動に参加する市民の拡大が、これからも望まれます。

## 行政の役割

- ① 市民が主体の生涯スポーツ社会の実現に向け、スポーツ関係団体との連携・協働をさらに推進します。
- ② 市民のスポーツニーズを的確に把握・分析し、施策の立案に反映することで一層のスポーツ推進を展開します。
- ③ 市民の様々な運動・スポーツ活動への要望を受け止め、その実現のための環境整備に努めます。
- ④ スポーツに関する「ひとづくり」や「ネットワークづくり」を今後も継続、推進します。

### (6) 施策実現に向けて

- ① 計画に基づくそれぞれの施策がどの程度達成されたのか、また、それぞれの事業がどのように市民に受け入れられたのかを評価・検証し、事業の展開を図ります。
- ② 施設整備の実施にあたっては、市民や関係団体・機関の意見をいただきながら、利用者の立場に立った整備を進めます。
- ③ 市民の運動やスポーツに関する意識やニーズを把握し、今後取り組む課題を明確にし、計画の目標である「市民が主体の生涯スポーツ社会」の実現を目指します。

## 参 考 資 料

- 1 スポーツ事業への取組み . . . . . 4 1
  - (1) スポーツ推進委員
  - (2) 体力づくり推進事業
  - (3) スポーツ・レクリエーション事業
  - (4) 運動・スポーツ活動の場の充実
- 2 この計画で使われている主な用語 . . . . . 4 7
- 3 市民の体力・スポーツに関する調査 . . . . . 4 8
- 4 伊勢原市市民生涯スポーツ推進基本計画 策定経過資料 . . . . . 5 2
- 5 計画策定に係わっていただいたスポーツ推進審議会委員名簿 . . . . . 5 4

## 1 スポーツ事業への取組み

### (1) スポーツ推進委員

スポーツ基本法に基づき、教育委員会規則によりスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、スポーツ推進委員を設置しています。

活動目的は、住民が自発的、日常的にスポーツに親しみ、楽しみ、支える機会を提供することとされています。(スポーツのコーディネーター)

また、スポーツ推進のための事業の実施に係る役割を担っています。

◇定数：41名

◇任期：2年

=主な事業=

- ◇ 地区(学区)体力づくり振興会活動の運営推進
- ◇ 市主催事業への協力
- ◇ スポーツ推進委員協議会活動の推進

### (2) 体力づくり推進事業

#### ① 体力づくり振興会の支援

地域住民の生活圏での運動・スポーツ活動の振興を推進する組織として、体力づくり振興会が自治会(一部学区)単位で組織されています。振興会活動は、スポーツ推進委員がその主軸的な役割を担っています。

=主な事業=

- ◇ 地区(学区)体育祭の開催
- ◇ 各種スポーツ大会、教室、講習会の開催
- ◇ 地域住民のレクリエーション事業等の開催

## ② 各種大会・教室等の開催

スポーツ競技大会やスポーツ教室等を関係団体と協働するなどして開催し、市民の自主的な運動・スポーツ活動への参加の機会を提供しています。

=主な事業=

- ◇ 伊勢原駅伝競走大会
- ◇ 市民走れ走れ大会
- ◇ 市民ゴルフ大会
- ◇ すこやか少年少女スポーツフェスティバル
- ◇ 市民体力測定
- ◇ 初心者・中高齢者スポーツ教室等事業
- ◇ 障害者スポーツ教室・大会

## ③ 総合型地域スポーツクラブの運営支援

本計画の基本理念である「市民が主体の生涯スポーツ社会の実現」のための大きな柱として、総合型地域スポーツクラブの運営支援を推進することで市民の健康寿命の延伸への取組を進めています。

また、豊かな子育て環境の醸成、子どもたちの体力づくりの推進を図るための総合型地域スポーツクラブの創設を検討しています。

=主な事業=

- ◇ 東海大学健康クラブの運営支援
  - ・ 東海大学市民健康スポーツ大学の開催
  - ・ 市民のための体力測定の実施
- ◇ 新たな総合型地域スポーツクラブ創設支援
  - ・ 乳幼児及びその親(主に母親)に対する健康・体力増進の機会の提供
  - ・ 運動・スポーツ活動を介した子育てやリフレッシュ等の支援

#### ④ スポーツ関係団体の育成・支援

市民の運動・スポーツ活動の推進を図るため、スポーツ関係団体と協働・連携し、各種スポーツ推進策を実施しています。

=主な事業=

- ◇ 伊勢原市体育協会の育成支援
- ◇ 伊勢原市レクリエーションの育成支援
- ◇ 伊勢原市スポーツ少年団の育成支援

### (3) スポーツ・レクリエーション事業

各種競技スポーツの競技力向上と競技人口の底辺拡大は、相乗効果となって市全体のスポーツ競技力の推進につながります。本市は市体育協会と協働し、市選手権大会や各種大会に伊勢原市代表選手・チームを派遣しています。

また、市総合体育大会を開催し、市民のスポーツ競技力のアップに努めています。

さらに、全国大会等へ出場する市民や市内の団体に激励金を交付し、その活動を支援するとともに、県大会以上で優秀な成績を収めた個人や団体を毎年3月の市制記念日に表彰し、その功績を顕彰しています。

#### ① 競技スポーツの推進

競技スポーツは、伊勢原市体育協会との協働により推進を図っています。なお一層の競技力の向上や競技人口の拡大を図るため、市体育協会と協働し、スポーツの好循環社会の実現に向け取り組みを進めています。

=主な事業=

- ◇ スポーツ競技全国大会等出場者激励金交付事業
- ◇ 各種大会選手派遣事業
- ◇ 市総合体育大会の開催
- ◇ 市選手権大会の実施
- ◇ 体育協会育成支援
- ◇ スポーツ指導者研修会の開催

## ② 少年スポーツの推進

スポーツ活動は、少年期における子ども達の体力の向上を進め、他者を尊重する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等、人格の形成に大きな役割を果たします。一人でも多くの少年少女にスポーツの喜びを感じていただき、スポーツ活動を通して仲間づくりと友情を深めるとともに、心と体の成長を助長する環境整備を進めています。

=主な事業=

- ◇ すこやか少年少女スポーツフェスティバル（再掲）
- ◇ ジュニアリーダー研修会
- ◇ 親と子の交流会
- ◇ 体力テスト
- ◇ スポーツ少年団指導者研修会
- ◇ スポーツ指導者研修会(再掲)

## ③ レクリエーション活動の推進

気軽にスポーツに親しみ、仲間づくりのための競技を行うなど、柔らかさ感と癒やか感を兼ね備えたレクリエーション活動は、共通するスポーツを通じた好人関係の深化に寄与するものとされています。

優しさと少しの厳しさを包含するレクリエーション活動の発展は、生涯スポーツの進展や生きがいづくりに向け、これからも期待される分野です。

=主な事業=

- ◇ スポーツ・レクリエーション大会の開催
- ◇ 種目別競技大会等の開催

#### ④ 大山登山マラソン大会の開催

本市の歴史や文化、地理的特性を全国に発信する大会として「大山登山マラソン大会」を開催しています。この大会は、昭和56年3月1日に、市制10周年記念事業「大山登山競走」として実施され、その後、昭和61年3月9日に市制15周年記念事業「第1回大山登山マラソン大会」として開催され、以来毎年3月第2日曜日に伊勢原駅北口の大山阿夫利神社一の鳥居前をスタートし、大山阿夫利神社下社までの片道9kmのコースで実施しています。

大会は、選手が通過する沿道の皆様の御協力や企業・スポーツ団体他各種団体の御支援と多くのボランティアさんに支えられ運営されています。

### (4) 運動・スポーツ活動の場の充実

本市のスポーツ施設は、昭和46年から49年にかけて鈴川公園の野球場、テニスコート4面、屋外25mプール、市ノ坪公園に野球場と交通公園を開設しました。その後、平成10年の神奈川国体を契機に鈴川球場を改修し、平成16年度には市ノ坪公園を防災公園としてリニューアルし、砂入り人工芝のテニスコート4面と自由広場を整備しました。しかし、鈴川公園テニスコートをはじめとしたスポーツ施設の老朽化が進んでいます。

昭和61年度から平成3年度にかけて整備した市立武道館、伊勢原市体育館、伊勢原球場も20年近く経過し、さらに、平成7年に神奈川県から移譲を受けた青少年センターの体育館も同様に、施設の老朽化に対応した対策を進めています。

＝主な施設＝

- ◇ 市立武道館
- ◇ 大田すこやかスポーツ広場
- ◇ こどもスポーツ広場
- ◇ 鈴川公園 野球場、テニスコート、プール
- ◇ 市ノ坪公園 野球場、テニスコート
- ◇ 総合運動公園体育館 野球場（伊勢原球場）
- ◇ 東富岡公園テニスコート
- ◇ 青少年センター 体育館、弓道場

### ① 学校体育施設開放の推進

本市では、昭和50年度から市立小・中学校で体育館、グラウンドの一般開放を、屋外プール（夏季限定）は、昭和55年度から全小学校で開放を実施し、地域住民のスポーツ環境の整備に努めています。

=主な事業=

- ◇ 体育館 14校
- ◇ グラウンド 14校
- ◇ 屋外プール 10校（小学校）

### ② 夜間照明設備（学校）開放事業の推進

夜間照明設備は、昭和60年度に中沢中学校に、平成11年度には石田小学校に設置し、勤労世代の市民が夜間にもスポーツ活動に親しめるよう、環境を整えています。

本市では、昭和50年度から市立小・中学校で体育館、グラウンドの一般開放を、屋外プール（夏季限定）は、昭和55年度から全小学校で開放を実施し、地域住民のスポーツ環境の整備に努めています。

=主な事業=

- ◇ 夜間照明設備 2校
  - ・ 中沢中学校
  - ・ 石田小学校

### ③ 民間スポーツ施設開放事業の推進

公的スポーツ施設を補完する観点から市内のスポーツ事業者の協力を得て、平成15年1月から民間スポーツ施設の開放事業を推進し、市民が健康増進や体力向上に勤しめる環境整備に努めています。

=主な施設=

- ◇ 民間開放施設
  - ・ テニスコート 1施設 1面
  - ・ 屋内プール 2施設

## 2 この計画で使われている主な用語

### ◇「運動」と「スポーツ」の違い

この計画では、軽い体操や散歩、健康のために行う水泳などを含む身体活動を「運動」とし、ルールや決まりに基づいて活動する陸上競技やサッカー、また柔道や剣道などを「スポーツ」として扱っています。しかし、単に「スポーツは…」や「スポーツ振興」あるいは「スポーツ活動」と表現している場合は、原則として「運動」と「スポーツ」の両方を含めた意味で表しています。

### ◇「体育」とは

一般的には運動やスポーツについての教育（学習）を意味する言葉で、主に学校教育で使われる教育用語です。我が国の場合、明治初期ごろからスポーツが広く行われるようになりましたが、当時から学校教育を中心に「体育」（当時は「体操」）やスポーツが行われてきたことから、現在でも広くスポーツ全般を意味する場合にも「体育」という言葉が多くの場合で使われています。（「体育館」など）

### ◇「生涯スポーツ」とは

子どもから高齢者まで、生涯にわたって人生の各時期（ライフステージ）に、それぞれの興味・関心や目的に応じて運動やスポーツに親しむことを意味します。

生涯スポーツは、競技として、レクリエーションとして、あるいは健康・体力づくりとして、といったように様々な目的や楽しみ方があります。また、「する」だけでなく「みる」（観戦するなど）・「支える」（応援する・運営する・教えるなど）など、様々な関わり方があります。

### ◇「競技スポーツ」とは

スポーツを行う目的は様々ですが、特に勝利や大会での成績、記録や技能の向上をめざして行うのが典型的な「競技スポーツ」です。

競技スポーツを行うことは、勝利や技能の向上によって達成感や満足感を味わうことができ、スポーツが持つ魅力を感じることができます。また、トップアスリートの競技を見ることは、人々にスポーツの醍醐味、洗練された技能のすばらしさなど、夢や感動を与え、スポーツの魅力をも十分に伝えてくれます。

### ◇「レクリエーション」とは

休養や娯楽、さらに自己実現を図るといった積極的な意味合いを持ち、囲碁や将棋のようなものから「スポーツ」まで、幅広いものとなっています。

### ◇「総合型地域スポーツクラブ」とは

地域住民が主体的に運営するスポーツクラブの形態で、特徴は次のとおりです。

- ・ 複数の種目が用意されている
- ・ 子どもから高齢者まで、初心者からトップレベルの競技者まで、地域の誰もが年齢、興味・関心、技術・技能レベル等に応じていつまでも活動できる
- ・ 活動の拠点となるスポーツ施設及びクラブハウスがあり、定期的・継続的な活動を行うことができる
- ・ 質の高い指導者のもと、個々のスポーツニーズに応じたスポーツ指導が行われる

### 3 市民の体力・スポーツに関する調査票

平成22年6月実施

#### I あなた御自身についておたずねします。

- 問 1 あなたの御住所の地区名を教えてください。
- |        |        |      |       |
|--------|--------|------|-------|
| 1 伊勢原北 | 2 伊勢原南 | 3 大山 | 4 高部屋 |
| 5 比々多  | 6 成瀬   | 7 大田 |       |
- 問 2 あなたの性別を教えてください。
- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|
- 問 3 あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。
- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 1 20代 | 2 30代 | 3 40代 |
| 4 50代 | 5 60代 | 6 70代 |
- 問 4 あなたの職業は、次のどれにあたりますか。
- |        |              |           |
|--------|--------------|-----------|
| 1 農林漁業 | 2 自由業・商工自営業  | 3 会社員     |
| 4 公務員  | 5 パート・アルバイト等 | 6 専門主婦    |
| 7 学生   | 8 無職         | 9 その他 ( ) |
- 問 5 あなたの休日は、次のどれにあたりますか。
- |           |                       |
|-----------|-----------------------|
| 1 完全週休2日制 | 2 その他週休2日制 (隔週・月1回など) |
| 3 週休1日制   | 4 週休制ではないが休日はある       |
| 5 休日はない   | 6 その他 ( )             |

#### II あなたの健康・体力観についておたずねします。

- 問 6 あなたは、普段の御自身の健康について、どう思いますか。
- |            |           |         |
|------------|-----------|---------|
| 1 大いに健康である | 2 まあ健康である | 3 健康でない |
|------------|-----------|---------|
- 問 7 普段の体力について、どう思いますか。
- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1 自信がある | 2 普通である | 3 自信がない |
|---------|---------|---------|
- 問 8 普段、肉体的な疲労を感じますか。
- |          |         |        |
|----------|---------|--------|
| 1 大いに感じる | 2 少し感じる | 3 感じない |
|----------|---------|--------|
- 問 9 普段、精神的な疲労、ストレスを感じますか。
- |          |         |        |
|----------|---------|--------|
| 1 大いに感じる | 2 少し感じる | 3 感じない |
|----------|---------|--------|
- 問 10 普段、体力の衰えを感じますか。
- |          |         |        |
|----------|---------|--------|
| 1 大いに感じる | 2 少し感じる | 3 感じない |
|----------|---------|--------|
- 問 11 普段、運動不足を感じますか。
- |          |         |        |
|----------|---------|--------|
| 1 大いに感じる | 2 少し感じる | 3 感じない |
|----------|---------|--------|
- 問 12 御自身は肥満を感じますか。
- |          |         |        |
|----------|---------|--------|
| 1 大いに感じる | 2 少し感じる | 3 感じない |
|----------|---------|--------|
- 問 13 普段、健康や体力に注意していますか。
- |          |                  |           |
|----------|------------------|-----------|
| 1 注意している | 2 少し (時々) 注意している | 3 注意していない |
|----------|------------------|-----------|

問14 日頃、健康や体力の維持増進のために、心がけていることはありますか。  
あてはまる番号を、3つまで○で囲ってください。

- 1 食生活に気をつける
- 2 睡眠や休養をよくとる
- 3 運動やスポーツ（体操や散歩を含む）をする
- 4 日常生活で、できるだけ身体活動の機会を増やす  
（車を利用せず、歩くなど）
- 5 規則正しい生活をする
- 6 酒、たばこなどを控える

Ⅲ あなたの運動・スポーツの実施状況についておたずねします。

問15 この1年間で30分以上行った運動やスポーツには何がありますか。それぞれの領域のあてはまる番号をいくつでも○で囲ってください。

A 軽スポーツ

- 1 していない
- 2 軽い運動（キャッチボール、バドミントン、テニスなど）
- 3 体操（縄跳びを含む）
- 4 エアロビックダンス（エアロビクス体操）
- 5 ウォーキング（散歩などを含む）
- 6 フォークダンス（社交ダンス、民謡を含む）
- 7 ボウリング
- 8 ゲートボール、グラウンドゴルフ
- 9 ランニング（ジョギング）
- 10 軽い水泳
- 11 屋内運動器具を使ってする運動
- 12 その他の軽スポーツ

B 野外スポーツ

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 1 していない   | 2 スキー         |
| 3 海水浴（遊泳） | 4 登山          |
| 5 キャンプ    | 6 ハイキング       |
| 7 ゴルフ     | 8 サイクリング      |
| 9 釣り      | 10 その他の野外スポーツ |

C 競技スポーツ

- |          |             |
|----------|-------------|
| 1 していない  | 2 陸上競技      |
| 3 水泳競技   | 4 野球        |
| 5 サッカー   | 6 ソフトボール    |
| 7 バレーボール | 8 テニス       |
| 9 卓球     | 10 その他のスポーツ |

\* A、B、Cの全てで「1 していない」を選択された方は、問18に進んでください。

問16 前問A、B、Cのいずれかの運動やスポーツを行った方におたずねします。この1年間で、30分以上運動した日数を全部あわせると、おおよそ、週当たり何日くらいになりますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲ってください。

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1 週に3日以上     | 2 週に2日程度    |
| 3 週に1日程度     | 4 月に1日～3日程度 |
| 5 3ヶ月に1～2日程度 | 6 年に1日～3日程度 |
| 7 わからない      |             |

問17 問15のA、B、Cのいずれかの運動やスポーツを行った方におたずねします。この1年間で運動やスポーツをした理由はなんでしたか。あてはまる番号を3つまで○で囲ってください。

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1 健康・体力づくりのため      | 2 楽しみ、気晴らしとして |
| 3 運動不足を感じるから       | 4 精神の修養や訓練のため |
| 5 自己の記録や能力を向上させるため | 6 家族とのふれあいとして |
| 7 友人・仲間との交流として     | 8 美容や肥満解消のため  |

\*次は問19に進んでください。

問18 問15のA、B、C全てで運動やスポーツを「1 していない」と回答された方におたずねします。この1年間で運動やスポーツをしなかった理由は何でしたか。あてはまる番号を3つまで○で囲ってください。

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1 時間がなかったから | 2 機会がなかったから     |
| 3 年をとったから   | 4 仲間がいなかったから    |
| 5 体が弱いから    | 6 場所や施設がないから    |
| 7 金がかかるから   | 8 運動・スポーツは嫌いだから |
| 9 その他       | 10 指導者がいないから    |

問19 あなたは、運動・スポーツ活動についてどのように感じていますか。あてはまる番号を1つだけ○で囲ってください。

- 1 運動・スポーツを十分に行っており、満足している
- 2 運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい
- 3 運動・スポーツを行いたいと思っているが、できない
- 4 運動・スポーツに関心がない

IV 伊勢原市のスポーツ施設についておたずねします。

問20 市立体育館、野球場、テニスコートなど、公共スポーツ施設にどのようなことを望んでいますか。あてはまる番号を3つまで○で囲ってください。

- 1 施設数の増加
- 2 アフタースポーツのための施設（レストランなど）の充実
- 3 託児施設の充実
- 4 施設のバリアフリー化の推進
- 5 運動する場の安全性・快適性の推進

問21 市立体育館、野球場、テニスコートなど、公共スポーツ施設の利用に関して、どのようなことを望んでいますか。あてはまる番号を3つまで○で囲ってください。

- 1 指導者の配置
- 2 初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実
- 3 利用手続き、料金支払い方法の簡略化
- 4 利用時間帯の拡大（深夜・夜間など）
- 5 利用案内など広報の充実
- 6 健康やスポーツに関する情報の充実

V スポーツ全般についておたずねします。

問2 2 あなたは、次にあげる運動やスポーツに関する情報のうち、どのような情報がほしいと思いますか。あてはまる番号を3つまで○で囲ってください。

- 1 健康・体力づくり情報
- 2 スポーツ施設の案内
- 3 各種スポーツ教室の案内
- 4 新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報
- 5 スポーツ行事やスポーツイベントの情報
- 6 クラブ・同好会などの活動案内
- 7 自分ができるスポーツ競技会の情報
- 8 スポーツに関する医学的・科学的情報
- 9 各種スポーツ指導者の紹介
- 10 特にない

問2 3 あなたは、伊勢原市内の運動やスポーツに関する情報をどのような手段で得ていますか。あてはまる番号を3つまで○で囲ってください。

- 1 市の広報
- 2 タウン紙
- 3 公民館だより
- 4 知人等からの口コミ
- 5 市のホームページ
- 6 公共施設のチラシ等

問2 4 スポーツ振興を図るため、市は今後どのような取り組みをすべきだと思いますか。あてはまる番号を3つまで○で囲ってください。

- 1 手軽にスポーツができる公園の整備
- 2 年齢層にあったスポーツの開発と普及
- 3 ジョギングなどができる道路の整備
- 4 各種スポーツ行事・大会。教室の開催
- 5 スポーツに関する広報活動の工夫と強化
- 6 地域のクラブやサークルの育成
- 7 学校体育施設の開放と整備
- 8 公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備
- 9 スポーツ指導者の養成
- 10 野外スポーツ活動施設の整備
- 11 野外を除く各種スポーツ施設の整備
- 12 スポーツボランティアの支援
- 13 わからない

問2 5 あなたは、地域のスポーツ振興にどのような効果を期待していますか。あてはまる番号を3つまで○で囲ってください。

- 1 余暇時間の有効活用
- 2 地域のコミュニティの形成
- 3 高齢者の生きがいづくり
- 4 親子や家族の交流
- 5 スポーツ施設の有効活用
- 6 世代交流の促進
- 7 青少年の健全育成
- 8 地域の健康水準の改善
- 9 わからない

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

## 4 伊勢原市 市民生涯スポーツ推進基本計画 策定経過資料

本市におけるスポーツに関する計画は、平成15年3月24日に設置された「伊勢原市生涯スポーツ懇話会」において計画案が議論され、平成20年2月に「伊勢原市市民生涯スポーツ振興基本計画」が公表されました。

また、計画の公表にあわせ、平成20年3月の伊勢原市議会定例会において、計画の進捗管理を任務の一部とする伊勢原市スポーツ振興審議会の設置が認められ、同年8月から審議会が発足しました。

その後、平成23年6月24日、法律第78号としてスポーツ基本法が成立し、スポーツ推進の方向性が定められ、特に、地方スポーツ推進に関する重要事項を調査・審議する機関としてスポーツ推進審議会が位置づけられました。

本市においては、スポーツの審議に関する歴史的経過を踏まえ、スポーツ推進の重要事項である「伊勢原市市民生涯スポーツ推進基本計画」案の策定について、これを伊勢原市スポーツ推進審議会に託し、より良いスポーツ環境の整備に向け努めて参りたいと考えております。

### 計画策定の経過

- (1) 平成21年8月4日
  - ・ 平成21年度第1回伊勢原市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）において、計画改定スケジュールについての検討が行われ、平成25年度からの改訂計画案の策定が了承された。
- (2) 平成21年10月29日
  - ・ 平成21年度第2回審議会において、「伊勢原市における体力・スポーツに関する意識調査の在り方について」審議が行われた。
- (3) 平成22年2月17日
  - ・ 平成21年度第3回審議会において、「伊勢原市における体力・スポーツに関する意識調査の調査項目について」審議が行われた。
- (4) 平成22年6月  
「市民の体力・スポーツに関する調査」を実施した。  
\* 調査票発送は5月、回収は6月末
- (5) 平成22年8月3日
  - ・ 平成22年度第1回審議会が開催され、改めて計画改定スケジュールについて審議をいただき、平成25年度からの改訂計画案の策定が了承された。

- (6) 平成22年12月20日
- 平成22年度第2回審議会が開催され、体力・スポーツに関するアンケート調査の結果（中間報告）について議論が行われた。
- (7) 平成23年3月29日
- 平成22年度第3回審議会が開催され、体力・スポーツに関するアンケート調査の結果についての最終報告が行われた。
- (8) 平成24年8月20日
- 平成24年度第1回審議会が開催され、計画改定案について審議が行われ了承された。
- (9) 平成24年12月20日
- 平成24年度第2回審議会が開催され、計画改訂案が議決され成案された。また、今後の手続きについても了承された。
- (10) 平成25年3月28日
- 3月伊勢原市教育委員会 パブリックコメント（案）について（協議）
  - 平成24年度第3回審議会が開催され、パブリックコメント（案）等、今後の手続きについて事務局から報告された。
- (11) パブリックコメントの実施
- 意見募集期間 平成25年4月19日から5月18日
  - 周知方法 市ホームページ、広報いせはら4/15号
  - 閲覧場所 市ホームページ、市政情報コーナー、公民館、市役所5階教育委員会、スポーツ課
  - 提出意見数 1件（1人）
- (12) 平成25年5月28日
- 5月伊勢原市教育委員会 計画（案）パブリックコメントの結果及び対応方針について（報告）
- (13) 平成25年6月13日
- 平成25年度第1回審議会が開催され、パブリックコメントの結果及び対応方針について及び市民生涯スポーツ推進基本計画（案）について了承された。
- (14) 平成25年6月25日
- 6月伊勢原市教育委員会 市民生涯スポーツ推進基本計画（案）について（附議）
- (15) 平成25年7月19日
- 市議会全員協議会 市民生涯スポーツ推進基本計画の策定について（報告）

## 5 計画策定に係わったスポーツ推進審議会委員名簿

審議期間：平成21年8月～平成25年6月まで

(順不同、敬称略)

区 分	所 属	氏 名	任 期
専門研究機関	東海大学体育学部（教授）	吉川政夫	審議期間に同じ
	東海大学健康科学部（教授）	谷口幸一	審議期間に同じ
	伊勢原市医師会 （スポーツ医学関係）	増田隆一郎	審議期間に同じ
体力づくり振興会	地区体力づくり振興会	青柳貞徳	平成22年7月まで
		柏木勇美	平成24年7月まで
		宮川進	平成24年8月から
スポーツ関係団体	体育協会	田中昇	審議期間に同じ
	レクリエーション協会	市成志の江	平成24年7月まで
		鶴田英子	平成24年8月から
	スポーツ推進委員協議会	平田重吉	平成24年7月まで
		藤川充	平成24年8月から
スポーツ少年団	谷口和昭	審議期間に同じ	
学校	小学校指導者	佐野智子	平成25年5月まで
		葛貫泰代	平成25年6月から
	中学校指導者	高橋正彦	平成22年8月から 平成24年7月まで
		和田勝久	平成24年8月から 平成25年5月まで
		宮林英樹	平成25年6月から
公募委員		秋元克之	平成22年7月まで
		江島栄子	平成22年7月まで
		陶山晴美	平成22年8月から 平成24年7月まで
		中丸千夏	平成24年8月から
		内田司郎	平成24年8月から





## 伊勢原市市民生涯スポーツ推進基本計画

平成25年7月

発行 伊勢原市

編集 伊勢原市教育委員会

〒259-1188

神奈川県伊勢原市田中348番地

伊勢原市教育委員会 教育部 スポーツ課

電話 (0463) 94-4711

FAX (0463) 95-7615

E-mail [sports@isehara-city.jp](mailto:sports@isehara-city.jp)